

平成29年度(2017年度)

金沢大学



推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・
私費外国人留学生入試

学生募集要項

人間社会学域
理工学域
医薬保健学域

KANAZAWA
UNIVERSITY

出願手続から入学までの日程

◎推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 学校教育学類 地域創造学類	11月 1日(火) ～ 11月 7日(月)	11月10日(木)頃	11月26日(土)	12月 7日(水)	2月 9日(木) ～ 2月14日(火)	4月
	国際学類			第2次選考 12月 3日(土)	第1次選考 11月17日(木) 第2次選考 12月14日(水)		
	経済学類			11月26日(土) 11月27日(日)			
理工学域	自然システム学類			11月26日(土)	12月 7日(水)		
医薬保健学域	保健学類						

◎推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	法学類 学校教育学類 地域創造学類	12月15日(木) ～ 12月21日(水)	12月28日(水)頃	1月28日(土)	2月 6日(月)	2月 9日(木) ～ 2月14日(火)	4月
医薬保健学域	医学類			第2次選考 2月 6日(月)	第1次選考 2月 2日(木) 第2次選考 2月 8日(水)	2月14日(火) ～ 2月15日(水)	
	保健学類			1月28日(土)	2月 6日(月)	2月 9日(木) ～ 2月14日(火)	

◎帰国子女入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	学力検査等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 法学類 地域創造学類	1月17日(火) ～ 1月20日(金)	2月 9日(木)頃	2月25日(土)	3月 7日(火)	3月15日(水) まで	4月
	国際学類	10月24日(月) ～ 10月28日(金)	11月10日(木)頃	第2次選考 12月 3日(土)	第1次選考 11月17日(木) 第2次選考 12月14日(水)	2月 9日(木) ～ 2月14日(火)	
	経済学類			11月26日(土) 11月27日(日)	12月 7日(水)		
理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報学類 環境デザイン学類 自然システム学類	1月17日(火) ～ 1月20日(金)	2月 9日(木)頃	2月25日(土)	3月 7日(火)	3月15日(水) まで	
医薬保健学域	医学類 薬学類・創薬科学類			2月25日(土) 2月26日(日)			
	保健学類			2月25日(土)			

◎国際バカロレア入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	小論文・面接等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 法学類	10月24日(月) ～ 10月28日(金)	11月10日(木)頃	11月26日(土)	12月7日(水)	2月9日(木) ～ 2月14日(火)	4月
	経済学類			11月26日(土) 11月27日(日)			
	学校教育学類 地域創造学類 国際学類						
理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報学類 環境デザイン学類 自然システム学類			11月26日(土)			
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類 保健学類						

◎私費外国人留学生入試

学域・学類等		出願期間	受験票発送	学力検査等	合格者発表	入学手続	入学
人間社会学域	人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 地域創造学類 国際学類	1月17日(火) ～ 1月20日(金)	2月9日(木)頃	2月25日(土)	3月7日(火)	3月27日(月) まで	4月
	理工学域			数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報学類 環境デザイン学類 自然システム学類			
医薬保健学域	医学類 薬学類・創薬科学類			2月25日(土) 2月26日(日)			
	保健学類			2月25日(土)			

【留意事項】 不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前は特に注意してください。

金沢大学(入試情報) Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

目 次

【共通】

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）… 1
2. 推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試…10
3. 障がいのある者等の出願…10
4. 問い合わせ先…11
5. 入試情報の提供…12
6. 個人情報の保護…13

【推薦入試】

- I. 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）
 1. 募集人員…14
 2. 推薦要件…15
 3. 選抜方法…17
 4. 試験期日・試験時間…20
- II. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）
 1. 募集人員…21
 2. 推薦要件…22
 3. 選抜方法…25
 4. 試験期日・試験時間…39
- III. 出願手続
 1. 出願期間…40
 2. 出願方法…40
 3. 出願書類等…40
 4. 推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表…44
 5. 受験票の送付…50
- IV. 合格者発表
 1. 発表日時…50
 2. 発表場所…50
- V. その他
 1. 推薦入試に合格しなかった場合の取り扱い…51
 2. 入学手続…51

【帰国子女入試】

1. 募集人員…52
2. 出願資格…52
3. 選抜方法…53
4. 試験期日・試験時間…56
5. 出願期間…57
6. 出願手続…57
7. 受験票の送付…59
8. 合格者発表…59
9. 入学手続…60

【国際バカロレア入試】

1. 募集人員…61
2. 出願資格…61
3. 選抜方法…62
4. 試験期日・試験時間…64
5. 出願期間…64
6. 出願手続…64
7. 受験票の送付…66
8. 合格者発表（条件付合格者発表）…66
9. 入学手続…67

【私費外国人留学生入試】

1. 募集人員…68
2. 出願資格…68
3. 出願条件…68
4. 実施教科・科目等…69
5. 選抜方法…70
6. 試験期日・試験時間…73
7. 出願期間…74
8. 出願手続…74
9. 受験票の送付…75
10. 合格者発表…75
11. 入学手続…75

【学生生活】（共通）

1. 入学時に必要な経費…76
2. 入学料免除…76
3. 入学料徴収猶予…77
4. 授業料の納入…78
5. 授業料免除…78
6. 金沢大学学生特別支援制度…79
7. 金沢大学スーパーグローバル大学創成留学生支援奨学金…79
8. 奨学金…79
9. 学生寮…80
10. アルバイト…81
11. 保健管理センター…81
12. 学生教育研究災害傷害保険…81
13. 携帯型パソコンの用意について…81
14. 申請書類等の請求及び照会先…82

【その他の情報】

1. 金沢大学所在地略図…83
2. 金沢大学キャンパス配置図…84

（注）本入学者選抜に関するすべての事項は，志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって，必ず本人の責任で確認してください。

『自然災害により被災された受験生の皆さまへ』

金沢大学では，自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し，受験生の進学のを確保するため，入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など，免除に関する詳細につきましては，金沢大学（入試情報）Webサイトをご覧ください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

入学検定料の免除を希望される方は，出願前に本学学生部入試課までご連絡ください。

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、広範な人間の行動・思考・創造と、その蓄積としての思想・歴史・文化、あるいはそれらすべてに関わる言語等を学問的に取り扱い、これら諸学問の専門知識を有し、総合的・学際的視野を持った人材の養成を目指します。

例えば、情報処理能力と柔軟な思考力をもって組織をリードできる人、社会調査・フィールドワークを企画・実施する能力を有する人、外国語コミュニケーション能力を有し国際的に活動できる人など、学術上の基礎訓練を活かし活躍できる人材の養成を目標とします。

なお、一般入試、帰国子女入試、国際バカロレア入試、私費外国人留学生入試で入学した人は、2年進級時に、本人の希望、学業成績等を考慮の上、所属するコース・分野を決定します。

求める人材

- ・人間の行動や思想に積極的な関心を持ち、人間探求に挑もうとする人
- ・社会や文化に関する課題を発見し探求する能力を高めた人
- ・個性的な発想や観察眼・思考方法の能力を伸ばしたい人
- ・フィールドワークに興味を持ち、調査方法・情報整理能力を身につけたい人
- ・外国事情に関心を持ち、外国語のコミュニケーション能力を高めた人

選抜の基本方針

■推薦入試

《人間科学コース（専門分野：哲学・人間学）》

- ・小論文においては、哲学的・倫理的な問題についての理解力、論理的思考力、表現力を重視します。
- ・面接においては、幅広い教養とともに、哲学的なものの考え方や発想に対する関心を重視します。

《歴史文化学コース（専門分野：日本史学）》

筆記試験では、日本の古代史から近現代史に関する一般的な知識を論理的思考力でもって表現できるかを問う、面接試験では、研究手法を身につけるための意欲と関心を有しているかという観点から選抜します。

《歴史文化学コース（専門分野：東洋史学）》

本学入学後に、東アジア文化圏（漢字文化圏）における諸事象を総合的・多面的に理解し、そのうえで、歴史資料を駆使しながらその歴史を論理的に描くことができるかどうかをみるため、小論文では、課題に関連する文章や資料、並びにアジアを中心とした世界の歴史についての理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を、また面接では、平素の学習活動の成果、勉学意欲や当該専門分野で学習を進めるのに必要な資質等を、総合的に評価します。

《歴史文化学コース（専門分野：西洋史学）》

課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を評価するとともに、面接により、歴史を研究することへの情熱、および特定の時代・テーマに関して今後深く掘り下

げて考察しうる可能性を有しているかという観点から選抜します。

《言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学）》

小論文を通じて、外国語読解力、思考力、表現力、創造性及び言葉に対する感性を測ります。また面接では、入学後の学習意欲とともに、中国の言葉、文学、歴史及び現代中国の文化と社会に対する知識、関心度なども重視します。

■帰国子女入試

人文学類の基本的科目である国語・外国語能力を重視するとともに、面接により、高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の読解・筆記能力を重視するとともに、英語能力も確認します。また面接により、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探求する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことが望まれます。

【法学類】

法学類は本学独自の「学類」という名称を冠していますが、学べる内容は他大学の法学部と同じです。起源は1949年に創設された法文学部法学科であり、1980年には法学部へ改組し、2008年には現在の法学類となりました。この間、国内外の社会状況は大きく変化し、また、今後も常に変化しつづけることが予想される中で、個々人が他者と共生していくために必要である法と政治に関する基本的な理念や知識は昔も今も不変であり、そして将来も不変でありつづけることでしょう。このような認識の下、法学類では、法学・政治学を体系的に学ぶことを基本としつつ、さらに、現代社会の課題を発見し解決するためには欠かすことのできない、他者に対する共感力と、問題解決のための創造力を養うことを目標としています。

法学類生の主要な進路は官公署・企業・大学院です。そのため、法学類では、希望進路に対応する、公共法政策・企業関係法・総合法学という3つのコースを設けています。各コースへの所属は3年進級時に決定します。その際、総合法学コースを志望するためには、2年前期までの成績が一定基準以上であることを条件とし、さらに志望者多数の場合は面接等に基づく選考を行います。他の2コースは希望通りの所属となります。

求める人材（法学類共通）

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経

緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材（推薦入試）

- ・コミュニケーション能力（とくに、人の話を正確に理解し、自分の意見を論理的に述べる能力）が優れている人
- ・課題や仕事に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針

■推薦入試

基礎学力に加え、面接を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■帰国子女入試

国語能力に加え、面接を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語能力及び英語能力に加え、日本語による面接を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、現代社会において国、国の中の地域、国を越えた各地域で起きている様々な問題に、①経済理論に基づく解釈と政策的解決策の検討、②経営・会計・情報の観点からの企業活動の分析、③世界各地の経済と社会の比較考察という三つの経済学的アプローチから迫ります。そのためには経済学を体系だって学ぶことと同時に、その一部を深く専門的に学ぶことが必要であり、経済学類は、そのどちらも満たすカリキュラムを提供することによって、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材の養成を目標とします。

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とする推薦入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

経済学類には、経済理論・経済政策コース、経営・情報コース、比較社会経済コースがあります。各コースへの所属は、

3年進級時に本人の希望、適性、成績等を考慮の上決定します。

求める人材（経済学類共通）

- ・経済理論を基礎としながら、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身に付けたい人
- ・即戦力として、あるいは起業家として、ビジネス界で活躍したいと考えている人
- ・日々の国際的な出来事や企業の動きに鋭敏にアンテナを張り巡らせている人

求める人材（推薦入試）

- ・高等学校で修得した専門教育の知識を踏まえ、より深い経済学・経営学の専門的知識を得たい人
- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、問題解決能力を身につけたい人
- ・国際社会やビジネスに関心をもち、将来、これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

■推薦入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語及び英語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■帰国子女入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語及び英語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の文章に関する理解力、論理的思考力、表現力に加え、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語および情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することも求められます。さらに現代社会の経済およびそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことも望まれます。

【学校教育学類】

「空洞化」した学びを立て直していくには、教師に教科等に関する専門的な知識や技能及びそれらを教授する能力に加え、グローバルな視野に立って考え行動する市民的教養と行動力が求められます。また、様々なトラブルをかかえた子どもたちと向き合うためには、子どもたちに共感し、子どもたちの世界を読み開く能力も求められます。学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標としており、専門職としての教師への熱意にあふれた人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年

進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

- ・専門職としての教師への熱意が旺盛である人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の見解を表明できると同時に、他者の見解や感情を理解することができる人
- ・人類的課題に地域や学校で取り組んでみたい人

選抜の基本方針

■推薦入試

〈特別支援教育専修〉

課題に対する思考能力と論述能力、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

〈美術教育専修〉

形体に対する表現力、課題に対する思考能力と論述能力、基礎知識・論理的思考能力及び勉学意欲や資質並びに提出作品等から総合的に評価します。

〈国語教育専修〉

基礎学力及び勉学意欲・教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

〈社会科教育専修〉

基礎学力及び思考力・文章力・表現力を総合的に評価します。

〈数学教育専修〉

基礎学力及び勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

〈理科教育専修〉

基礎学力及び教員になりたいという目的と意欲、自然科学・理科教育・環境教育への関心をはじめとする総合的な学力等を評価します。

〈音楽教育専修〉

基礎学力及び演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力、楽典の基礎的知識、志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を評価します。

〈保健体育専修〉

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質、大学入学後の計画等を総合的に評価します。

〈家政教育専修〉

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

〈英語教育専修〉

基礎学力及び論理的思考と英語力、勉学及び教員になることへの意欲、そしてコミュニケーション力を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。(なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的としています。)

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

本学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修が卒業要件となっていることから、次の三点が望まれます。

- ・小学校の全教科を含む、学校教育の全般についての基

礎的な知識や技術を身につけておくこと

- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、それぞれの地域が持つ自然的・文化的資源、伝統、人材、資金社会関係などを総合的に活用し、自治を活かした地域固有のスタイルで住民の福祉・文化・産業・環境を発展させ、質の高い個性ある地域生活を計画・設計・政策立案し、地域づくりのリーダーとして活動できる能力を持つ人材を育てることを教育理念・目標としています。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、健康スポーツの4つのコースがあります。各コースへの配属は、推薦入試以外の学生については、2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・地域の歴史・文化・環境・経済・生活に積極的な関心を持っている人
- ・個性ある地域を創造していくことに強い意欲を持っている人
- ・地域との具体的な関わりの中で、福祉・環境・文化・健康スポーツを中心に学びたい人
- ・地域における豊かな暮らしの創出に取り組み、グローバルな共生社会の発展に寄与しようとする人

選抜の基本方針

■推薦入試

福祉マネジメント・環境共生両コースでは、小論文課題から、各専門分野に関わる課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を評価し、面接により大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

地域プランニングコースでは、基礎学力に加え、面接により大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

健康スポーツコースでは、基礎学力に加え、スポーツ活動に関する調査書及び面接により、大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■帰国子女入試

小論文課題から、地域創造に関わる課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を評価し、成績証明書(調査書)及び面接により、大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■私費外国人留学生入試

小論文課題を論述することにより、基礎的知識・思考能力・論述能力等を総合的に評価します。面接では、多面的な質問をおこない、勉強意欲や地域創造学類への的確性を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、福祉、環境、地域プランニング、健

康スポーツの側面から、総合的に地域について学ぶことから、文系・理系科目両面にわたり、高等学校で学ぶ教科全般について理解しておくことが求められます。

地域創造学類は、地域の問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことが望まれます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感性、外国語をはじめとする国際コミュニケーション能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・本国文化のアイデンティティーを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語や国際的に重要な他の外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、外国人と諸問題を粘り強く話し合い、相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来の人生設計において、外国地域への進出など国際的な活動や国内において国際的業務への従事を目指す人、外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

■推薦入試

第1次選考では、外部試験（TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれか）のスコア及び調査書、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。第2次選考では、面接を行います。面接では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書は面接の際の参考とします。

■帰国子女入試

第1次選考では、外部試験（TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれか）のスコア及び成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。第2次選考では、面接を行います。面接では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書は面接の際の参考とします。

■私費外国人留学生入試

英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせます。これによって、英語の知識とと

もに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。また面接では、基礎知識や日本語によるコミュニケーション能力、勉学意欲を十分に有しているかを重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類ではグローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる国際人を送り出すことを目指しています。この目標の実現のために高校在学中に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得した数多くの学生が本学類を受験してくれることを期待します。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで受験生のみなさんには、日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことへの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。また国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことが望まれます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えて「倫理」など様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。今日ではまた、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入によって、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えていると言っても過言ではありません。数物科学類では、このように21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学、計算科学を学ぶことを通じて、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年進級時に本人の希望にもとづき、数学、物理学、計算科学の3つのコースのいずれかを選択し、より専門的な内容の学習へと進みます。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、物理学、計算科学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに、面接により理解度、勉学意欲、基本的知識等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目で

ある数学・物理の学力及び日本語・英語の語学力を重視するとともに、面接により日本語能力、勉学意欲、資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目（数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び、そこで学習したことを十分に身に付けておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに日常の生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し、世界のグローバル化を積極的に担える人材の育成を目標としており、“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然に関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

物質化学类にとっての基本的科目である数学・化学及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

数学・化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。

さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地歴・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

本学類では、自己を知り自己の人間力や表現力を高めた上で、技術革新の基盤となる機械工学の技術者・研究者として、モノづくり工学の社会的使命と責任を果たし、中核的なリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、技術の革新的な進歩に貢献する能力と、技術と人間社

会との調和を図る素養の修得を目的とした、工学のみならず、数学・物理学の基礎から、機械工学の先端的な分野、技術を取りまく社会・環境に関する分野までの研究・教育を行います。本学類は、機械の高度化、知能化、超精密化を目指す、ロボティクス、航空宇宙工学、ナノテクノロジーなどの未知の領域に挑む先進的な機械工学分野や、医療福祉機器、生活支援機器、新エネルギーの開発や環境保全を目指す、人と自然に優しい機械工学分野に興味がある人材の入学を期待します。

機械工学類には機械システム、知能機械、人間機械及びエネルギー環境の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持つ人
- ・地球環境への関心が高くてグローバルな視野と外国語能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性が豊かで自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

機械工学类にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の読解・筆記能力、機械工学类にとっての基礎となる数学・物理・化学・英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）および一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれます。

【電子情報学類】

電子情報学類が対象とする分野は、大小様々な機器の動作に不可欠なエネルギー・制御・半導体・集積回路技術、情報産業のインフラであるコンピュータ・通信技術、バイオと情報通信技術（ICT）の融合した生命情報からなり、相互に強く関連しながら発展している分野です。電子情報学類では、地球の視点や技術者としての鋭い倫理観を持ちながら、当該分野における未来の課題に取り組む強い意欲と能力を有し、個性の輝く自立した電気・電子・情報・通信・生命情報工学技術者の養成を目標としています。

電子情報学類には電気電子、情報システム及び生命情報の3つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・数学が得意な人、積極的に物理学、数学、生物学の応用に取組みたい人
- ・科学実験やコンピュータに関心があり、科学技術の未来

の課題を見つけて創意工夫をしたい人

- ・コンピュータのハードウェア・ソフトウェアを学び、高度情報化社会に貢献したい人
- ・エネルギー、エレクトロニクス、通信、ICT技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

電子情報分野の基本的科目である数学・物理及び英語の学力を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、電子情報分野の基本的科目である数学・物理・化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目においては、理数系科目及び文系科目ともに重要ですので、きちんと習得してください。また、一般入試の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておいてください。

【環境デザイン学類】

私たちの生活には、地球環境から生活環境までの安全・安心な環境や豊かな暮らしを支える道路・橋梁・堤防などの社会基盤が不可欠です。環境デザイン学類では、地球環境だけでなく、生活環境や社会基盤の整備などを含めた広い意味で（私たちの暮らしのための）「環境」というものを捉え、「環境」について総合的・実践的に教育・研究を行います。

環境デザイン学類には土木建設、環境・防災及び都市デザインの3つのコースがあります。各コースへの所属は3年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

求める人材は、地球環境から生活環境までの様々な自然・人間・社会環境に対する調査や分析と共に、それらに配慮した国土創造、安全・安心な社会基盤や都市のデザインに興味があり、かつ、次のような特性を有する、意欲ある人です。

- ・理数系科目はもとより、人文社会系科目にも興味のある、オールラウンドな実力のある人
- ・地域貢献や社会正義について大いに関心のある人
- ・環境問題をはじめとする社会の動きにいつも関心のある人
- ・創意工夫をすることの好きな人
- ・自分の考えを相手にわかりやすく表現できる人
- ・現在と未来の課題解決に対して積極的に取り組む人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

本学類にとって基本的科目である数学、理科及び英語の学力を評価します。

■私費外国人留学生入試

英語の学力に加えて、日本語の読解・筆記能力、基礎学力を重視するとともに、面接により、勉学意欲、日本語によるコミュニケーション能力等を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解しておくこと。本学類の科目を着実に習得するには、特に数学、物理、化学及び英語について十分な学習が望まれます。また、総合的な学力を身に付けるために、理系のみならず、人文社会系科目の学習も勧めます。

【自然システム学類】

自然システム学類では、金沢大学〈グローバル〉スタンダードに基づきグローバル社会をリードする人材育成のため、生物・人間・物質・地球で形成されるシステムを自然システムとして捉え、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につける教育を行い、生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地球科学の総合的観点から、このシステムの基本を追及する研究者、その成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者、これらの知識の普及や人材育成に貢献できる教育者を養成します。自然システム学類では、科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

自然システム学類には生物学、バイオ工学、物質循環工学及び地球学の4つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・生物学、バイオ工学、物質工学、環境科学、地球科学の分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・材料・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■推薦入試

小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。小論文では、科学や技術に関する文章を読み解き、理解力、論理的思考力、表現力、英語力等を総合的に評価します。また、面接では、科学や技術に対する勉学意欲及び理解力等を評価します。

■帰国子女入試

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価します。加えて、成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価します。

■私費外国人留学生入試

数学、理科、英語の学力を評価します。日本語の読解・筆記能力も重視します。面接では、大学の授業を理解するための基礎知識や勉学意欲、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センターで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくこと。自然システム学類の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含めとくにしっかりと身につけておくこと。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておくこと。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者には医師国家試験の受験資格が与えられ、合格することによって医師として登録されます。医学類の教育理念は、「人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者の育成を図ることにより、世界の医療、健康、福祉に貢献する」ことです。そのために、「幅広い教養、豊かな感性と人間性への深い洞察力を持ち、コミュニケーション能力及び国際性を備え、患者中心の全人的医療ができる医師と医学者」を育てることを教育目標とします。また、社会の多様かつ高度な医療ニーズに応じていくために「明確な目的意識、強い使命感、高い倫理観と協調性」を備えた人材を求めます。

求める人材

- ・高度専門職業人として、研究心を持った医師を目指す人
- ・地域の医療に貢献する医師を目指す人
- ・国際的に活躍できる医学研究者を目指す人
- ・厚生医官、法務医官、自治体、保健所など医療行政の分野で活躍したい人
- ・世界保健機構などで医学医療の分野で国際貢献したい人
- ・医薬開発、医療器械開発、バイオ技術開発などのビジネス領域で活躍したい人

選抜の基本方針

■推薦入試

生命科学と人類の幸福に高い志を持ち、出身高等学校長等による責任ある推薦を受けた者を対象とします。特に、推薦入試の特別枠は、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としており、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

■帰国子女入試

日本の高等学校教育で求められるすべての科目における基礎知識・技能と相当のものを習得していることに加え、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語に関して十分な学力をもったものを対象とします。面接においては勉学意欲・コミュニケーション能力・資質・向上心等を重視します。

■私費外国人留学生入試

医学を学ぶのに必要な日本語の読解・筆記能力を有しているとともに、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語に関して十分な学力をもったものを対象とします。面接においては勉学意欲・コミュニケーション能力・資質・向上心等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことが望まれます。

【薬学類】

薬学が人間の生命に関わる学問であることを踏まえ、豊かな人間性・高い倫理観、幅広い教養を身につけた主導的な薬剤師の養成を図ります。また、薬剤師資格を有した上で高度に専門的な教育者や研究者を目指し、卒業後、博士課程（4年制）に進学する人を歓迎します。

本学においては薬学類・創薬科学類を一括して学生募集を

行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学習を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

求める人材（薬学類共通）

- ・チーム医療の一員として薬を用いた医療に主導的に関わる薬剤師を目指す人
- ・生命薬学の領域において国内外で活躍する研究者を目指す人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を面接により評価します。

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解することが求められます。特に、理数科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【創薬科学類】

人類の健康増進や医薬品の創製につながる先端的な研究・応用研究分野で活躍する高度で専門的な知識と技能を身につけた多様な人材の養成を図ります。とりわけ研究者を養成することを主目的としますので、卒業後は、大学院博士前期課程（2年間）、さらには博士後期課程（3年間）へと進学する人を歓迎します。

本学においては薬学類・創薬科学類を一括して学生募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学習を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

求める人材（創薬科学類共通）

- ・人類の健康増進や医薬品の創製を通じて社会に貢献することを希望する人
- ・生命科学の領域において国内外で活躍する研究者を目指す人

選抜の基本方針

■帰国子女入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を面接により評価します。

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を面接により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解することが求められます。特に、理数科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。

教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成がおこなわれており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

〈看護学専攻〉

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、環境に適応しながら健康に生活することを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健関係現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通じ、将来の医療科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、^{*}保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

^{*}保健師課程については、平成26年度入学生から選択制としています。詳細は随時保健学類HPなどに掲載していきますので、保健師を希望している方は確認してください。

〈放射線技術科学専攻〉

診療放射線技師として保健医療を支える有能で意欲のある人材を育成することを目標とします。放射線技術科学専攻では、放射線、磁気や超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性など広範囲の学問を修め、高度な医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、放射線を含む量子医療技術について基礎から臨床まで幅広い教育研究を行います。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

〈検査技術科学専攻〉

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

〈理学療法学専攻〉

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをきたした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

〈作業療法学専攻〉

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

〈看護学専攻〉

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

〈放射線技術科学専攻〉

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

〈検査技術科学専攻〉

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

〈理学療法学専攻〉

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

〈作業療法学専攻〉

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

■推薦入試

面接で医療人としての適格性の評価および調査書による総合評価をします。また、看護学専攻、作業療法学専攻では小論文による資質評価をし、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻では基礎学力を重視します。

■帰国子女入試

理科と英語の学力に加え、成績証明書（調査書）によ

る総合評価をします。

■私費外国人留学生入試

小論文、面接による資質適格性を評価し、英語、日本語能力を加えて総合判断します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

〈看護学専攻〉

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

〈放射線技術科学専攻〉

文章を正確に読解し、事象に応じた的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。また科学的な視点で事象を読解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことも望まれます。

〈検査技術科学専攻〉

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修が望まれます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力が求められます。

〈理学療法学専攻〉

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

〈作業療法学専攻〉

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

国際バカロレア入試のアドミッション・ポリシー

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げ、さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知的基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、豊かな教養と高度な専門性を身に付けたいという強い意欲を持つ人を国内外から広く受け入れます。

特に国際バカロレア入試においては、自主的に課題を発見し解決する意欲があり、国際交流に必要な表現力とコミュニケーション能力（英語）を習得して世界に向けて活躍する熱意を持ち、かつ入学を希望する学類のアドミッション・ポリシーに適した人を受け入れます。

2. 推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試

平成29年度における推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試は，次のとおり実施します。

(1) 推薦入試を行う学域学類等

人間社会学域 **人文学類**（人間科学コース（専門分野：哲学・人間学），歴史文化学コース（専門分野：日本史学，東洋史学，西洋史学），言語文化学コース（専門分野：中国語学中国文学）），**法学類**，**経済学類**，**学校教育学類**（特別支援教育専修，国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，家政教育専修，英語教育専修），**地域創造学類**（福祉マネジメントコース，環境共生コース，地域プランニングコース，健康スポーツコース），**国際学類**

理工学域 **自然システム学類**

医薬保健学域 **医学類**（一般枠，特別枠），**保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(2) 帰国子女入試を行う学域学類等

人間社会学域 **人文学類**，**法学類**，**経済学類**，**地域創造学類**，**国際学類**

理工学域 **数物科学類**，**物質化学類**，**機械工学類**，**電子情報学類**，**環境デザイン学類**，**自然システム学類**

医薬保健学域 **医学類**，**薬学類・創薬科学類**，**保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(3) 国際バカロレア入試を行う学域学類等

人間社会学域 **人文学類**，**法学類**，**経済学類**，**学校教育学類**，**地域創造学類**，**国際学類**

理工学域 **数物科学類**，**物質化学類**，**機械工学類**，**電子情報学類**，**環境デザイン学類**，**自然システム学類**

医薬保健学域 **薬学類・創薬科学類**，**保健学類**（看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）

(4) 私費外国人留学生入試

全学域学類で行います。

3. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で，障がい等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，本学に事前相談書等を提出し，相談してください。

なお，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく，本学の個別学力検査等において，「代筆解答」を必要とする者は，下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。

(1) 相談締切日 平成28年10月11日（火）

（なお，相談締切日を過ぎてからの相談の場合でも対応はいたしますが，必ずしも要望に沿うことができないこともあります。）

(2) 提出書類

① 事前相談書（次の事項及び連絡先について記載したもの。様式は問いません。）

- ア 志願者氏名
- イ 志望学域学類等及び受験予定の入試区分
- ウ 障がいの種類・程度
- エ 受験について配慮を希望する事項
- オ 修学について配慮を希望する事項
- カ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
- キ 日常生活の状況
- ク その他参考となる事項

② 医師の診断書（上記ウ，エ，オ，キに関する項目も記載してください。）

③ 大学入試センター試験の「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入試センター試験を受験する予定の者で，受験上の配慮が認められた者のみ）

④ その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電 話 076-264-5169, 5177~5179 (平日午前9時から午後5時まで)

FAX 076-234-4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

4. 問い合わせ先

電話での問い合わせは、平日（月曜日～金曜日）午前9時から午後5時の間をお願いします。

また、志願者本人がこの学生募集要項を熟読し、必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

(1) 入学試験関係

入学試験に関する問い合わせは、下記へ行ってください。

学生部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電 話 076-264-5169, 5177~5179 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp	FAX 076-234-4042
-------------	------------------	--	------------------

不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前は特に注意してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問い合わせは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問 い 合 わ せ 先		
人間 社会 学域	人 文 学 類	人間社会系事務部 学生課人文・国際学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5601
	法 学 類	人間社会系事務部 学生課法・経済学務係		電話 076-264-5456 5457
	経 済 学 類	人間社会系事務部 学生課教育・地域学務係		電話 076-264-5603
	学 校 教 育 学 類	人間社会系事務部 学生課人文・国際学務係		電話 076-264-5455
	地 域 創 造 学 類	人間社会系事務部 学生課人文・国際学務係		
理 工 学域	数 物 科 学 類	理工系事務部 学生課教務係		電話 076-234-6831
	物 質 化 学 類			
	機 械 工 学 類			
	電 子 情 報 学 類			
	環 境 デ ザ イ ン 学 類			
医 薬 保 健 学域	医 学 類	医薬保健系事務部 学生課医学学務係	〒920-8640 金沢市宝町13番1号	電話 076-265-2809 2125
	薬学類・創薬科学類	医薬保健系事務部 薬学・がん研支援課 薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6827 6828
	保 健 学 類	医薬保健系事務部 学生課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号	電話 076-265-2514 2515

5. 入試情報の提供

- (1) 入学者選抜試験（推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試）に関する情報を金沢大学 Web サイトで提供します。

金沢大学（入試情報）Web サイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

① 学生募集要項の概略，出願状況等の掲載

期 間	内 容
平成28年9月下旬～	学生募集要項の内容，請求方法の案内
平成28年11月11日（金）～平成29年3月31日（金）	推薦入試Ⅰ，帰国子女入試（経済学類・国際学類）及び国際バカロレア入試出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）
平成28年12月28日（水）～平成29年3月31日（金）	推薦入試Ⅱ出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）
平成29年 1月27日（金）～平成29年3月31日（金）	帰国子女入試及び私費外国人留学生入試出願状況（学域学類等ごとの志願者数及び倍率）

② 合格者（受験番号）の掲載

日 程	推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試
平成28年 11月17日(木) 午後3時(予定)	人間社会学域 国際学類（第1次選考）	人間社会学域 国際学類（第1次選考）		
平成28年 12月 7日(水) 午後3時(予定)	人間社会学域 人文学類 経済学類 学校教育学類（推薦入試Ⅰ） 地域創造学類（推薦入試Ⅰ） 理工学域 自然システム学類 医薬保健学域 保健学類（推薦入試Ⅰ）	人間社会学域 経済学類	人間社会学域（全学類） 理工学域（全学類） 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類 保健学類	
平成28年 12月14日(水) 午後3時(予定)	人間社会学域 国際学類（第2次選考）	人間社会学域 国際学類（第2次選考）		
平成29年 2月 2日(木) 午前10時(予定)	医薬保健学域 医学類（第1次選考）			
平成29年 2月 6日(月) 午後4時(予定)	人間社会学域 法学類 学校教育学類（推薦入試Ⅱ） 地域創造学類（推薦入試Ⅱ） 医薬保健学域 保健学類（推薦入試Ⅱ）			
平成29年 2月 8日(水) 午後4時(予定)	医薬保健学域 医学類（第2次選考）			
平成29年 3月 7日(火) 午後2時(予定)		人間社会学域 人文学類 法学類 地域創造学類 理工学域（全学類） 医薬保健学域（全学類）		全学域学類

③ 平成29年度入学者選抜試験実施結果の掲載

期 間	内 容
平成29年4月17日(月)～平成30年3月30日(金)	志願者, 受験者, 合格者及び入学者数
	合格者の最高点・最低点・平均点※ 大学入試センター試験, 小論文, 面接等の各合計点及び総合点について掲載

※募集人員または合格者が10人未満の学域学類等については, 開示は行いません。

(2) 推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試については, 入学試験の個人成績の開示は行いません。

(3) 金沢大学 携帯電話サイト

資料請求方法などの各種入試情報等を, 携帯電話で閲覧できます。以下のバーコードにアクセスしてください。



<http://daigaku.jc.jp/kanazawa-u/>

6. 個人情報保護

金沢大学では, 「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し, 本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出していただく書類に記載されている全ての個人情報は, 次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理, 修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用, 学内LAN利用, 図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除, 授業料免除, 奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 卒業(修了)生に対する学習成果等調査(アウトカムズ・アセスメント), 同窓会活動への支援等に関する業務
- (8) その他, 個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお, 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため, 氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って, 推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

I. 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

1. 募集人員

学域・学類等			募集人員
人間 社会 学 域	人 文 学 類	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	1人
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学	1人
		歴史文化学コース 専門分野：東洋史学	1人
		歴史文化学コース 専門分野：西洋史学	1人
		言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	1人
	経済学類		10人
	学 校 教 育 類	特別支援教育専修	5人
		美術教育専修	3人
	地 域 創 造 類	福祉マネジメントコース	4人
		環境共生コース	4人
国際学類		15人	
理 工 学 域	自然システム学類		7人
医 薬 保 健 学 域	保 健 学 類	看護学専攻	15人
		理学療法学専攻	5人
		作業療法学専攻	5人

- (注) 1. 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一人の志願者について、1つの大学・学部(学域学類)に限られます。
2. 国際学類は、第1次選考と第2次選考により選抜を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。
3. 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
4. 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

2. 推薦要件

学域・学類等		推 薦 要 件
人 間 社 会 学 域	人文学類 人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。 ※「国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。
	経済学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）して平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）における学習成績概評がA段階以上（評定平均4.3以上）に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	学校教育学類 特別支援教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	学校教育学類 美術教育専修	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
	地域創造学類 福祉マネジメントコース	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

推薦入試 I

学域・学類等		推 薦 要 件
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 環境共生コース	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	国際学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
理 工 学 域	自然システム学類	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
医 薬 保 健 学 域	保健学類 看護学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 理学療法学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
学 域	保健学類 作業療法学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す小論文、面接等すべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法	
人 間 社 会 学 域	人文学類 人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。（調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認し、勉学意欲・資質等を判断するための評価資料として、面接の参考とします。） 小論文の出題方法については、下欄〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕各専門分野の①を参照してください。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接 100点</p> <p>（採点・評価基準） 小論文：下欄〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕各専門分野の②を参照してください。 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲・当該専門分野で学習を進めるのに必要な資質等を総合的に評価します。</p>	
		〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕	
		人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	① 哲学や倫理学に関わるテーマについて、関連する文章を提示した上で、論述させます。 ② 課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学	① 日本史に関する課題について論述させます。関連する資料等を提示することもあります。 ② 課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：東洋史学	① 関連する文章や資料を提示した上で、アジアを中心とした世界の歴史に関する課題について論述させます。 ② 課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：西洋史学	① 欧米を中心とした世界の歴史に関わるテーマについて論述させます。その際、文章や資料を提示することもあります。 ② 課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	① 言葉、文学、文化をテーマとする文章を提示し、それらについて論述させます。文章は、英語文、中国語文の二つを提示します。いずれかを選択して日本語で解答します。 ② 言葉に対する感性、表現力、思考力及び外国語能力を総合的に評価します。		
経済学類	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：推薦入試Ⅰ（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された<i>Economist</i>、<i>Fortune</i>に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点</p> <p>（採点・評価基準） 小論文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識等を評価します。 調査書・推薦書：平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。</p>		

学域・学類等		選 抜 方 法
人	学校教育学類 特別支援教育専修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 小論文：特別支援教育に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。 3. 配点：小論文 400点 面 接 200点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>
	学校教育学類 美術教育専修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、実技、小論文、面接（作品提出を含む）の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 実 技：デッサン（用具として、鉛筆、消しゴム及びデッサン用具を持参してください。） 小 論 文：美術に関わる種々のテーマから出題し、600字程度で論述させます。 提出作品：自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、面接時に持参できるものとしします。 3. 配点：実 技 50点 小論文 30点 面 接 20点 <p>〈採点・評価基準〉 実 技：形体に対する表現力を総合的に評価します。 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、基礎知識・論理的思考能力及び勉学意欲や資質並びに提出作品等を総合的に評価します。</p>
社	地域創造学類 福祉マネジメントコース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文：福祉に関することを論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：福祉に関連する課題について論述させ、課題に対する分析能力、洞察能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：高校時代の体験、時事問題への関心、自主的・自発的行動力、入学後の勉学意欲等を総合的に評価します。</p>
	地域創造学類 環境共生コース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文：環境共生に関することを論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：環境共生に関わる課題に対する思考能力、分析能力、論述能力を総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、環境共生コースでの学習意欲、課題への関心、資質等を総合的に評価します。</p>
学	国際学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験：TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれかのスコア 3. 第1次選考結果は、平成28年11月17日（木）に本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。 <p>〈第2次選考評価基準〉 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。

学域・学類等		選 抜 方 法
理 工 学 域	自然システム学類	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書（志願する理由等、自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの）等提出された書類により総合して行います。 小論文：科学や技術に関する文章（英文を含みます）を読ませ、論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書を含む）100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：設問に対する理解度と文章の構成、論理性、表現力等を評価します。 面 接：高校生活及び志願理由書の内容等に関する質問を通じて、当該分野における勉学意欲及び理解力等を評価します。 調査書：出身高校での学業成績を評価します。なお、入学前の学習指導並びに入学後の講義履修指導にも用いることがあります。</p>
医 薬 学 域	保健学類 看護学専攻	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：健康に関するテーマについて800字以内で論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に判断します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</p>
保 健 学 域	保健学類 理学療法学専攻	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 配点：面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</p>
保 健 学 域	保健学類 作業療法学専攻	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：人間・医療に関する科学的思考について800字以内で論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に判断します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</p>

4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等			試 験 期 日 ・ 試 験 時 間		
人 間 学 社	人	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	平成28年11月26日(土)	小論文 面接	9:30~11:30 13:00~
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学			
	歴史文化学コース 専門分野：東洋史学				
	歴史文化学コース 専門分野：西洋史学				
	言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学				
会	経済学類		平成28年11月26日(土)	小論文Ⅰ 9:30~11:30 小論文Ⅱ 13:00~14:30	
			平成28年11月27日(日)	面接 9:00~	
学	学校 教育 学類	特別支援教育専修	平成28年11月26日(土)	小論文 9:00~10:20 面接 13:00~	
		美術教育専修	平成28年11月26日(土)	小論文 9:00~10:20 実技 10:40~12:40 面接 13:30~	
域	地学 創 造 類	福祉マネジメントコース	平成28年11月26日(土)	小論文 9:00~10:30 面接 13:00~	
		環境共生コース			
		国際学類	第2次選考 面接 平成28年12月 3日(土) 9:00~		
理 工 学 域	自然システム学類		平成28年11月26日(土)	小論文 10:00~11:30 面接 13:00~	
医 薬 保 健 学 域	保 健 学 類	看護学専攻	平成28年11月26日(土)	小論文 10:00~11:30 面接 13:00~	
		理学療法学専攻	平成28年11月26日(土)	面接 9:00~	
		作業療法学専攻	平成28年11月26日(土)	小論文 10:00~11:30 面接 13:00~	

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

Ⅱ. 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

1. 募集人員

学域・学類等		募集人員	
人間 社会 学域	法学類	15人	
	学校教育学類	国語教育専修	3人
		社会科教育専修	3人
		数学教育専修	3人
		理科教育専修	4人
		音楽教育専修	4人
		保健体育専修	5人
		家政教育専修	3人
	地域創造学類	英語教育専修	3人
		地域プランニングコース	4人
医薬 保健 学域	医学類	健康スポーツコース	8人
		一般枠	15人
		特別枠	石川県枠
	富山県枠		2人
	保健学類	放射線技術科学専攻	6人
検査技術科学専攻		6人	

- (注) 1. 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することができるのは，一人の志願者について，1つの大学・学部（学域学類）に限られます。
2. 医学類「一般枠」と「特別枠」の両方に出願することはできませんが，特別枠の志願者に限り，一般枠を第2志望とすることができます。
3. 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は，一般入試の合格者で補充します。
4. 原則として，入学後の転学類・転専修等を認めません。

2. 推薦要件

学域・学類等		推 薦 要 件
人	法学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	学校教育学類 国語教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにふさわしい資質・適性について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
社	学校教育学類 社会科教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	学校教育学類 数学教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
学	学校教育学類 理科教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
域	学校教育学類 理科教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。

学域・学類等		推 薦 要 件
人間 社会 学域	地域創造学類 健康スポーツコース	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が、次のいずれにも該当すると認め、責任を持って推薦できる者 (1) 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当する者 (2) 高等学校若しくは中等教育学校後期課程において、スポーツ活動に積極的に取り組み、出願時までにスポーツ競技大会において優れた成績を修めた者 (3) 人物に優れ、社会における健康スポーツの充実・発展に貢献する熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
医 薬	医学類 一般枠 特別枠(石川県枠) (富山県枠)	以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上(評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
保 健	保健学類 放射線技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
学 域	保健学類 検査技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

3. 選抜方法

【留意事項】

1. 志望する学域学類等が課す大学入試センター試験及び個別学力検査等のすべてを受験しなければ、失格となります。志望する学域学類等が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験する予定であるか、44ページ以降の「推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表」で必ず確認してください。
2. 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
3. 大学入試センター試験の「理科」のうち、「基礎を付した科目」（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）から2科目を選択するように指定している学校教育学類（社会科教育専修、数学教育専修）においては、「基礎を付していない科目」（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。
4. 大学入試センター試験の配点等について
 - (1) 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
 - (2) 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。
 ただし、「地理歴史」「公民」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、**第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格**となります。
 （「地理歴史」「公民」及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
 - (3) 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
 なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。
 また、入学者選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されているセンター試験の「外国語」の配点に換算します。
5. 各学類の内容が表示してある表の下にも「留意事項」が書いてありますので、必ず参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法												
人 間 社 会 学 域	法学類	1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 2. 配点 (1) 大学入試センター試験で課す教科・科目名 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）</td> <td style="text-align: right;">※ 100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理、政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">(100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 400点 〔4教科5科目〕</td> </tr> </table> (2) 面 接 400点 〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）	※ 100点	公民（「倫理、政治・経済」）	(100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）	100点	外国語（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）	100点		合計 400点 〔4教科5科目〕
国語（「国語」）	100点													
地理歴史（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」）	※ 100点													
公民（「倫理、政治・経済」）	(100×1)													
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）	100点													
外国語（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）	100点													
	合計 400点 〔4教科5科目〕													

【法学類（推薦入試Ⅱ）】 留意事項

本ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																												
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 国語教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table border="0"> <tr> <td>国語（「国語」）</td> <td>400点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td>※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 1,100点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table border="0"> <tr> <td>国語（「国語」）</td> <td>400点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td>※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 1,100点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲・教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	400点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2	公民（「倫理, 政治・経済」）	※ 200点 (100×2)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点		合計 1,100点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	国語（「国語」）	400点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1	公民（「倫理, 政治・経済」）	※ 100点 (100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点		合計 1,100点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕
		国語（「国語」）	400点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2																													
公民（「倫理, 政治・経済」）		※ 200点 (100×2)																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																													
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																													
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																													
	合計 1,100点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																													
国語（「国語」）	400点																													
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1																													
公民（「倫理, 政治・経済」）		※ 100点 (100×1)																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																													
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点																													
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																													
	合計 1,100点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																													

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）国語教育専修 注意事項

- (1) 学校教育学類（推薦入試Ⅱ）国語教育専修における大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法														
人間社会学域	学校教育学類 社会科教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、小論文の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 小論文：社会科教育に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 700点 〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 小論文 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させることで、思考力及び文章力・表現力を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1）	100点	公民（「倫理, 政治・経済」）	100点	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点		合計 700点 〔6教科8科目〕
国語（「国語」）	100点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1）	100点															
公民（「倫理, 政治・経済」）	100点															
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）	100点															
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点															
	合計 700点 〔6教科8科目〕															

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】社会科教育専修 注意事項

- (1) 25ページの【留意事項】を参照してください。
- (2) 大学入試センター試験の「理科」について、「基礎を付していない科目」（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

学域・学類等		選 抜 方 法														
人間社会学域	学校教育学類 数学教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td style="text-align: right;">※ 100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">(100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 600点 〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：数学及び数学教育について多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点	公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点		合計 600点 〔5教科7科目〕
国語（「国語」）	100点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点															
公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)															
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）	100点															
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点															
	合計 600点 〔5教科7科目〕															

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】数学教育専修 注意事項

- (1) 25ページの【留意事項】を参照してください。
- (2) 大学入試センター試験の「理科」について、「基礎を付していない科目」（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

学域・学類等		選 抜 方 法																		
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 理科教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td style="text-align: right;">※ 100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">(100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 700点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、教員になりたいという目的と意欲及び自然科学・理科教育・環境教育への関心をはじめとする総合的な学力等を評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点	公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	200点	又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）		外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点		合計 700点		〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕
国語（「国語」）	100点																			
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	※ 100点																			
公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)																			
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点																			
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2）と 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1）	200点																			
又は 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）																				
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	100点																			
	合計 700点																			
	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																			

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】理科教育専修 注意事項

- (1) 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせず選択することはできません。
- (2) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法														
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 音楽教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、実技、筆記、面接の結果及び提出書類等（音楽活動実績書、調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 実技における選択受験種目（声楽、ピアノ、作曲）の詳細は、37ページを参照してください。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">〔2教科2科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 実 技</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">新曲視唱</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">50点</td> </tr> <tr> <td>声楽, ピアノ, 作曲 から1種目選択</td> <td style="text-align: right;">300点</td> </tr> </table> <p>(3) 筆 記</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">楽典</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">50点</td> </tr> </table> <p>(4) 面 接 100点</p> <p>〈採点・評価基準〉 実 技：演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力等の観点から総合的に評価します。 筆 記：楽典の基礎的知識を検査します。 面 接：志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を試問により評価します。 音楽活動実績書：実技及び面接における評価のための参考資料とします。</p>	国語（「国語」）	100点	外国語（「英語」）	100点		合計 200点		〔2教科2科目〕	新曲視唱	50点	声楽, ピアノ, 作曲 から1種目選択	300点	楽典	50点
国語（「国語」）	100点															
外国語（「英語」）	100点															
	合計 200点															
	〔2教科2科目〕															
新曲視唱	50点															
声楽, ピアノ, 作曲 から1種目選択	300点															
楽典	50点															

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】音楽教育専修 注意事項

- 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																										
人間社会学域	学校教育学類 保健体育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接及びスポーツ活動実績書の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書は、判定の基礎資料とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から2 ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面接（スポーツ活動実績評価を含む） 500点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面接：高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質、大学入学後の計画等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	
		国語（「国語」）	200点																									
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																												
国語（「国語」）	200点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※100点 (100×1)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																												

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】保健体育専修 注意事項

- (1) 学校教育学類（推薦入試Ⅱ）保健体育専修における大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																																
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 家政教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table border="0"> <tr> <td>国語（「国語」）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td>※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table border="0"> <tr> <td>国語（「国語」）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td>※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[5教科7科目] 又は [5教科8科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2	公民（「倫理, 政治・経済」）	※ 200点 (100×2)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計	900点		[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1	公民（「倫理, 政治・経済」）	※ 100点 (100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計	900点		[5教科7科目] 又は [5教科8科目]
		国語（「国語」）	200点																															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2																																	
公民（「倫理, 政治・経済」）		※ 200点 (100×2)																																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																																	
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																																	
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																																	
合計	900点																																	
	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]																																	
国語（「国語」）	200点																																	
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1																																	
公民（「倫理, 政治・経済」）		※ 100点 (100×1)																																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																																	
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点																																	
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																																	
合計	900点																																	
	[5教科7科目] 又は [5教科8科目]																																	

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】家政教育専修 注意事項

- (1) 学校教育学類（推薦入試Ⅱ）家政教育専修における大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせて選択することはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）, 以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち, 得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- (4) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）, 以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																										
人 間 社 会 学 域	学校教育学類 英語教育専修	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 小論文：英語や英語教育に関わる種々のテーマから出題し、300語程度の英語で論述させます。 面接：英語による面接を含みます。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から2 ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 小論文 300点 (3) 面接 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について英語で論述させ、論理的思考と英語の力を総合的に評価します。 面接：英語と日本語により多面的な試問を行い、勉学及び教員になることへの意欲、そしてコミュニケーション力を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	
		国語（「国語」）	200点																									
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																												
国語（「国語」）	200点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																												

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】英語教育専修 注意事項

- (1) 学校教育学類（推薦入試Ⅱ）英語教育専修における大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」の第2解答科目, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- (4) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目〕、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																																																	
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 地域プランニング コース	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。なお、調査書、推薦書は面接の際に参考とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table border="0"> <tr> <td>国語 (「国語」)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)</td> <td rowspan="2">} から2</td> </tr> <tr> <td>公民 (「倫理, 政治・経済」)</td> <td>※ 200点</td> </tr> <tr> <td>数学 (「数学I・数学A」) と</td> <td rowspan="2">}</td> </tr> <tr> <td>(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)</td> <td>(100×2)</td> </tr> <tr> <td>理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>又は</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[5教科7科目], [5教科8科目],</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[6教科7科目] 又は [6教科8科目]</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table border="0"> <tr> <td>国語 (「国語」)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>公民 (「倫理, 政治・経済」)</td> <td>※ 100点</td> </tr> <tr> <td>数学 (「数学I・数学A」) と</td> <td rowspan="2">}</td> </tr> <tr> <td>(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)</td> <td>(100×1)</td> </tr> <tr> <td>理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と</td> <td rowspan="2">}</td> </tr> <tr> <td>(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>又は</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 900点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[5教科7科目] 又は [5教科8科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。</p>	国語 (「国語」)	200点	地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)	} から2	公民 (「倫理, 政治・経済」)	※ 200点	数学 (「数学I・数学A」) と	}	(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)	(100×2)	理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)	200点	又は	100点	(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)		外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	200点		合計 900点		[5教科7科目], [5教科8科目],		[6教科7科目] 又は [6教科8科目]	国語 (「国語」)	200点	地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)	} から1	公民 (「倫理, 政治・経済」)	※ 100点	数学 (「数学I・数学A」) と	}	(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)	(100×1)	理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と	}	(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)	200点	又は		(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)		外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	200点		合計 900点		[5教科7科目] 又は [5教科8科目]	
		国語 (「国語」)	200点																																																
地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)	} から2																																																		
公民 (「倫理, 政治・経済」)		※ 200点																																																	
数学 (「数学I・数学A」) と	}																																																		
(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)		(100×2)																																																	
理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2)	200点																																																		
又は	100点																																																		
(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)																																																			
外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	200点																																																		
	合計 900点																																																		
	[5教科7科目], [5教科8科目],																																																		
	[6教科7科目] 又は [6教科8科目]																																																		
国語 (「国語」)	200点																																																		
地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」)	} から1																																																		
公民 (「倫理, 政治・経済」)		※ 100点																																																	
数学 (「数学I・数学A」) と	}																																																		
(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1)		(100×1)																																																	
理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2) と	}																																																		
(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1)		200点																																																	
又は																																																			
(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2)																																																			
外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1)	200点																																																		
	合計 900点																																																		
	[5教科7科目] 又は [5教科8科目]																																																		

【地域創造学類 (推薦入試Ⅱ)】 地域プランニングコース 注意事項

- (1) 地域創造学類 (推薦入試Ⅱ) 地域プランニングコースにおける大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目 (例えば「物理基礎」と「物理」) を組み合わせて選択することはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民』と「理科」で5科目受験している場合 (つまり、『「地理歴史」「公民』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目 (「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目)。
- (4) 『「地理歴史」「公民』と「理科」で4科目受験している場合 (つまり、『「地理歴史」「公民』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法																										
人 間 社 会 学 域	地域創造学類 健康スポーツコース	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接及びスポーツ活動に関する調査書の結果を総合して行います。なお、調査書、推薦書は面接の際に参考とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <p>パターンA</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から2 ※ 200点 (100×2)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）</td> <td style="text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>パターンB</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面接 150点 (3) スポーツ活動に関する調査書 300点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面接：各口頭試問に対する応答について、基礎知識・論理的思考能力・表現能力を総合的に評価します。 スポーツ活動に関する調査書： 競技成績、スポーツ活動への参加状況等複数の観点から総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点	合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	
		国語（「国語」）	200点																									
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から2 ※ 200点 (100×2)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1）	100点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕																												
国語（「国語」）	200点																											
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)																											
公民（「倫理, 政治・経済」）																												
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点																											
理科（「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2）と （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1） 又は （「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2）	200点																											
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1）	200点																											
合計 900点 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕																												

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）健康スポーツコース 注意事項

- (1) 地域創造学類（推薦入試Ⅱ）健康スポーツコースにおける大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (5) 25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法														
医 薬 保 健 学 域	医学類 一般枠	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）を総合して行います。</p> <p>ただし、志願者数が募集人員に対して2倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考（口頭試問による面接）を実施します。</p> <p>第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成29年2月2日（木）午前10時（予定）に医学類F棟1階掲示板（正面玄関・宝町キャンパス）及び金沢大学（医学類）Webサイトにおいて発表します。</p> <p>なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学（医学類）Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付した「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月6日（月）の面接試験開始時刻（午前9時）の20分前までに面接控室に入室してください。</p> <p>本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が、概ね680点（85%）以上を合格の基準とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> <td style="text-align: right;">(100×1)</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」と「化学」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800点 [5教科7科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（口頭試問） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉</p> <p>面 接：生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点	公民（「倫理, 政治・経済」）	(100×1)	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」と「化学」）	200点	外国語（「英語」）	200点		合計 800点 [5教科7科目]
国語（「国語」）	100点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点															
公民（「倫理, 政治・経済」）		(100×1)														
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と （「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理」と「化学」）	200点															
外国語（「英語」）	200点															
	合計 800点 [5教科7科目]															

【医学類（推薦入試Ⅱ）】一般枠 注意事項

25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法													
医 薬 保 健 学 域	医学類 特別枠 (石川県枠) (富山県枠)	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）を総合して行います。</p> <p>ただし、志願者数が募集人員に対して3倍程度を超えた場合には、大学入試センター試験の配点による成績の総得点により第1次選考を行うことがあります。その場合は、第1次選考合格者についてのみ第2次選考（口頭試問による面接）を実施します。</p> <p>第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成29年2月2日（木）午前10時（予定）に医学類F棟1階掲示板（正面玄関・宝町キャンパス）及び金沢大学（医学類）Webサイトにおいて発表します。</p> <p>なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学（医学類）Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付した「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月6日（月）の面接試験開始時刻（午前9時）の20分前までに面接控室に入室してください。</p> <p>本学類が課す大学入試センター試験（800点満点）の得点が、概ね680点（85%）以上を合格の基準とします。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">100点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」と「化学」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 800点 [5教科7科目]</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（口頭試問） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉</p> <p>面 接：生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。</p> <p>この選抜（特別枠）で不合格であっても、予め、一般枠を第2志望とした者については、一般枠の選考対象とします。なお、石川県枠と富山県枠の併願は認められません。</p> <p>特別枠について、38ページを参照してください。</p>	国語（「国語」）	100点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点	理科（「物理」と「化学」）	200点	外国語（「英語」）	200点		合計 800点 [5教科7科目]
国語（「国語」）	100点														
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)														
公民（「倫理, 政治・経済」）															
数学（「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 から1）	200点														
理科（「物理」と「化学」）	200点														
外国語（「英語」）	200点														
	合計 800点 [5教科7科目]														

【医学類（推薦入試Ⅱ）特別枠（石川県枠・富山県枠） 注意事項
25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法														
医 薬 保 健 学 域	保健学類 放射線技術科学専攻	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む） 400点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性や放射線技術科学専攻での勉学意欲などを総合的に評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と	（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点		合計 900点 〔5教科7科目〕
国語（「国語」）	200点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)															
公民（「倫理, 政治・経済」）																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点															
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点															
	合計 900点 〔5教科7科目〕															

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】放射線技術科学専攻 注意事項
25ページの【留意事項】を参照してください。

学域・学類等		選 抜 方 法														
医 薬 保 健 学 域	保健学類 検査技術科学専攻	<p>1. 選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。</p> <p>2. 配点</p> <p>(1) 大学入試センター試験で課す教科・科目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">国語（「国語」）</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">} から1 ※ 100点 (100×1)</td> </tr> <tr> <td>公民（「倫理, 政治・経済」）</td> </tr> <tr> <td>数学（「数学Ⅰ・数学A」）と</td> </tr> <tr> <td>（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td>外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）</td> <td style="text-align: right;">200点</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計 900点 〔5教科7科目〕</td> </tr> </table> <p>(2) 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む） 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適格性を評価します。</p>	国語（「国語」）	200点	地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)	公民（「倫理, 政治・経済」）	数学（「数学Ⅰ・数学A」）と	（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点	理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点	外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点		合計 900点 〔5教科7科目〕
国語（「国語」）	200点															
地理歴史（「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」）	} から1 ※ 100点 (100×1)															
公民（「倫理, 政治・経済」）																
数学（「数学Ⅰ・数学A」）と																
（「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1）	200点															
理科（「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2）	200点															
外国語（「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1）	200点															
	合計 900点 〔5教科7科目〕															

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】検査技術科学専攻 注意事項
25ページの【留意事項】を参照してください。

※ 人間社会学域学校教育学類〔音楽教育専修〕実技について

学校教育学類〔音楽教育専修〕の志願者は、「ア 共通受験種目」及び「イ 選択受験種目」を受験してください。

ア 共通受験種目

・実技試験

新曲視唱：8～16小節程度。

視唱は固定ド，又は移動ドで歌ってください。

・筆記試験

楽典

筆記用具は各自用意してください。

イ 選択受験種目

次のa～cの3種目から1種目を選択して受験してください。

a 声楽実技

次の(1)及び(2)からそれぞれ1曲を選択し，2曲を暗譜で歌ってください。

歌詞は原語とします。

(1) 次の3曲から1曲を選択。

A. Scarlatti : Se Florindo è fedele

F. Gasparini : Caro laccio

橋本 国彦 : お菓子と娘

(2) 上記の3曲以外のイタリア歌曲又はドイツ歌曲の中から3分程度の1曲。

b ピアノ実技

次の(1)及び(2)からそれぞれ1曲を選択し，2曲を暗譜で演奏してください。

(1) 次の①又は②から1曲を選択。

① バッハ：平均律ピアノ曲集第Ⅰ巻又は第Ⅱ巻から任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

ただし，フーガが3声以上の曲とする。

② ベートーヴェン：任意のピアノソナタより，第1楽章又は終楽章。

(2) 次の作曲家の作品の中から5分～15分程度の1曲（演奏する曲が多楽章の場合は，任意の楽章1つを1曲とみなします。）を選択。

ショパン，シューマン，ブラームス，リスト，ドビュッシー，ラヴェル，ラフマニノフ，スクリャービン

c 作曲実技

創作（創作時間60分程度）

与えられた旋律に対してピアノ伴奏を作曲し，その伴奏部分を演奏してください。

(注) 選択受験種目の受験について

a 声楽実技

(1) 声楽実技は本学が用意する伴奏者のピアノ伴奏で歌ってください。

(2) 各自が提出した楽譜によりピアノ伴奏しますので，演奏する2曲の楽譜（各自が歌う調）の写しを出願書類に添えて提出してください。

b ピアノ実技

(1) 演奏する2曲の楽譜の写しを出願書類に添えて提出してください。

(2) 演奏は繰り返しを省略してください。

c 作曲実技

(1) 創作時間には鍵盤楽器が使用できます。

(2) 筆記用具は各自用意してください。

※旋律課題の例題を公開しています。例題の郵送を希望する者は「作曲実技例題郵送希望」と明記し，返信用封筒（定形封筒に82円切手を貼り付け宛先を記入したもの）を同封のうえ，下記宛てに申し込んでください。

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学人間社会系事務部学生課教育・地域学務係

※ 医薬保健学域医学類特別枠について

(石川県枠)

1. 将来、石川県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、石川県の地域医療に貢献する強い意思を持ち、石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。
また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事することになります。
3. 石川県枠入学者には、石川県から修学資金が貸与されますので、**出願の前に石川県に申請を行い、面接を受けてください。出願時には、選考の結果交付された石川県知事の推薦書を提出してください。**
4. 石川県の面接は、石川県枠志願者が卒業後、石川県内の医療機関に勤務し、石川県の地域医療に貢献する強い意思を持っていることを確認するために行われるものです。
5. 詳細については、下記問い合わせ先に行ってください。

[石川県の修学資金貸与の概要]

貸与額	月額200,000円（予定）
貸与期間	6年間（大学入学から卒業まで）
返還免除	卒業後、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事した場合、返還が免除されます。
申請期間	10月上旬～中旬の予定ですが、事前に下記問い合わせ先まで確認してください。

[問い合わせ先] 石川県健康福祉部地域医療推進室
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
電話 076-225-1449 FAX 076-225-1434

(富山県枠)

1. 将来、富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、富山県の地域医療に貢献する強い意思を持ち、富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。
また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科）で9年間診療に従事することになります。
3. 富山県枠入学者には、富山県から修学資金が貸与されますので、**出願の前に富山県に申請を行い、面接を受けてください。出願時には、選考の結果交付された富山県知事の推薦書を提出してください。**
4. 富山県の面接は、富山県枠志願者が卒業後、富山県内の医療機関に勤務し、富山県の地域医療に貢献する強い意思を持っていることを確認するために行われるものです。
5. 詳細については、下記問い合わせ先に行ってください。

[富山県の修学資金貸与の概要]

貸与額	月額100,000円、入学金相当額、授業料相当額（予定）
貸与期間	6年間（大学入学から卒業まで）
返還免除	卒業後、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科）で9年間診療に従事した場合、返還が免除されます。
申請期間	10月中旬～11月上旬の予定ですが、事前に下記問い合わせ先まで確認してください。

[問い合わせ先] 富山県厚生部医務課医師・看護職員確保対策班
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7
電話 076-444-3218(直通) FAX 076-444-3495
E-mail doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp

4. 試験期日・試験時間

学域・学類等		試験期日・試験時間	
人間社会学域	法学類	平成29年1月28日(土)面接 9:00～	
	学校教育類	国語教育専修	平成29年1月28日(土)面接 9:00～
		社会科教育専修	平成29年1月28日(土)小論文 9:00～10:30
		数学教育専修	平成29年1月28日(土)面接 9:00～
		理科教育専修	
		音楽教育専修	平成29年1月28日(土)実技・筆記 9:00～ 面接 13:00～
		保健体育専修	平成29年1月28日(土)面接 9:00～
		家政教育専修	
	英語教育専修	平成29年1月28日(土)小論文 9:00～11:00 面接 13:00～	
	地域創造類	地域プランニングコース	平成29年1月28日(土)面接 9:00～
健康スポーツコース			
医薬保健学域	医学類	一般枠	平成29年2月6日(月)[第2次選考]面接 9:00～
		特別枠	
	保健学類	放射線技術科学専攻	平成29年1月28日(土)面接 9:00～
		検査技術科学専攻	

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

Ⅲ 出願手続

1. 出願期間

(1) 推薦入試Ⅰ

平成28年11月1日(火)～11月7日(月) (必着) ※郵送(書留速達)のみ

※ 締切日(平成28年11月7日(月))を過ぎて到着した出願書類のうち、平成28年11月6日(日)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 推薦入試Ⅱ

平成28年12月15日(木)～12月21日(水) (必着) ※郵送(書留速達)のみ

※ 締切日(平成28年12月21日(水))を過ぎて到着した出願書類のうち、平成28年12月20日(火)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

2. 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「推薦入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

なお、出身高等学校等で取りまとめの上提出する場合も、志願者ごとに所定の封筒に入れて郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

3. 出願書類等

本要項に添付してある「推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試用」用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者、国際学類又は医学類(一般枠、特別枠)の第1次選考で不合格となった者には、入学検定料の内、13,000円を返還します。ついては、入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成29年2月28日(火)までに返還手続を行ってください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学志願票 ・ 写真票 ・ 入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・ 出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。</p> <p>推薦入試Ⅱ志願者は「平成29センター試験成績請求票[推薦]国公立推薦入試用」を入学志願票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手 ② 確認はがき：52円分の切手</p> <p>医学類特別枠の志願者は、入学志願票の志願学域・学类等欄の「第2志望あり」又は「第2志望なし」に必ずチェックしてください。</p> <p>記入の際は「平成29年度金沢大学入学志願票記入例 推薦入試」(入学願書提出用封筒に同封)を参照してください。</p>
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料振込金証明書貼付用紙 <p>(①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。)</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書(提出用)」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書(本人控)」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行・信用金庫、信用組合、農協、漁協)窓口から振り込んでください。(ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。)振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本支店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注)1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>2 ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続を行うことができますので、平成29年2月28日(火)までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書(本人控)」及び「入学検定料振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <p>担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>

②	調査書	<p>1 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>2 被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類を、また、これらの書類等を提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書を提出してください。</p>
③	推薦書	本要項に添付の用紙により出身学校長が作成し、厳封したもの。
学域学類コース等により提出を指定する書類		
④	<p>志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用） （推薦入試Ⅱ地域創造学類） （健康スポーツコースを除く）</p>	<p>本要項に添付の様式により作成したもの。 （詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。）</p>
	<p>学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物 （推薦入試Ⅰ経済学類）</p>	<p>様式任意。 志願者が所属する学科等のカリキュラム記載箇所が分かるように、付箋を付ける又はマーカー等で識別してください。</p>
	<p>外部試験のスコア（写し） （推薦入試Ⅰ国際学類）</p>	<p>TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。 （注）出願期間最終日（平成28年11月7日）時点で有効なスコアに限ります。 インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。 出願時に提出した成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。</p> <p>上記原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。</p>
	<p>スポーツ活動実績書 （推薦入試Ⅱ学校教育学類） （保健体育専修）</p>	<p>本要項に添付の様式により出身学校長が作成したもの。 併せて、記入した成績等を証明する資料を提出してください。 （詳しくは、スポーツ活動実績書裏面の記入例及び記入上の注意を参照してください。）</p>
	<p>音楽活動実績書 （推薦入試Ⅱ学校教育学類） （音楽教育専修）</p>	<p>本要項に添付の様式により作成したもの。</p>
	<p>選択受験種目・曲目等届 （推薦入試Ⅱ学校教育学類） （音楽教育専修）</p>	<p>本要項に添付の様式により作成したもの。 選択受験種目において、声楽実技又はピアノ実技を選択した者は、演奏する2曲の楽譜の写しを提出してください。 （詳しくは、37ページを参照してください。）</p>
	<p>スポーツ活動に関する調査書 （推薦入試Ⅱ地域創造学類） （健康スポーツコース）</p>	<p>本要項に添付の様式により出身学校長が作成したもの。 併せて、記入した成績等を証明する資料を提出してください。 （詳しくは、スポーツ活動に関する調査書裏面の記入例及び記入上の注意を参照してください。）</p>
	<p>石川県知事又は富山県知事の推薦書 （推薦入試Ⅱ医学類特別枠）</p>	<p>出願時までに石川県又は富山県の修学資金貸与に係る申請を行い、面接等の選考の結果、交付された石川県知事又は富山県知事の推薦書を提出してください。 （詳しくは、38ページを参照してください。）</p>
<p>第一次選考結果通知用封筒 （推薦入試Ⅰ国際学類） （推薦入試Ⅱ医学類）</p>	<p>志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。 切手貼付不要。</p>	

志望する学域学類等により、出願の際に必要な書類が異なりますので、次の表により確認してください。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）出願の際に必要な書類

提出書類		①					②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		入学志願票	写真票	入学検定料振込金証明書	貼付用紙	切手貼付用紙	出願書類受理確認はがき	調査書	推薦書	志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）	音楽活動実績書	選択受験種目・曲目等届	スポーツ活動実績書	スポーツ活動に関する調査書	第一次選考結果通知用封筒
学域・学類等		※	※	※	※	※		※	※	※	※	※	※	※	
人間社会学域	人文学類	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学													—
	経済学類		○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○
	学校教育類	特別支援教育専修 美術教育専修													—
	地域創造型	福祉マネジメントコース 環境共生コース													○
	国際学類														○
理工学域	自然システム学類		○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
医薬保健学域	保健学類	看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. ○印の書類を提出してください。
2. ※は、原則として本要項に添付の用紙を使用してください。ただし、※のうち「③推薦書」及び「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」については、様式を金沢大学Webサイトからダウンロードし使用することができます。ダウンロードした「③推薦書」（様式）又は「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」（様式）を使用する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
3. 国際学類の「⑨第一次選考結果通知用封筒」については、志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。切手貼付不要。
4. 経済学類の「⑩その他」については、学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物を提出してください。
5. 国際学類の「⑩その他」については、外部試験のスコアの写しを提出してください。（詳しくは41ページを参照してください。）

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）出願の際に必要な書類

学域・学類等		①					②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
		入学志願票	写真票	貼付用紙 入学検定料振込金証明書	貼付用紙 入学試験関係書類送付用	切手貼付用紙 出願書類受理確認はがき	調査書	推薦書	志願理由書（推薦入試・ 帰国子女入試用）	音楽活動実績書	選択受験種目・曲目等届	スポーツ活動実績書	スポーツ活動に関する 調査書	第一次選考結果 通知用封筒	その他	
人間 社会 会 学 域	法学類															
	学 校 教 育	国語教育専修														
		社会科教育専修														
		数学教育専修														
	学 類	理科教育専修														
		音楽教育専修	○	○	○	○	○	○	○		○	○			—	○
		保健体育専修											○			
		家政教育専修														
	域	英語教育専修														
		地域 創造 学類	地域プランニングコース													
健康スポーツコース														○		○
医薬 保健 学域	医学 類	一般枠	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	
		特別枠														○
	保健 学類	放射線技術科学専攻	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—
		検査技術科学専攻														

- (注) 1. ○印の書類を提出してください。
2. ※は、原則として本要項に添付の用紙を使用してください。ただし、※のうち「③推薦書」及び「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」については、様式を金沢大学Webサイトからダウンロードし使用することができます。ダウンロードした「③推薦書」（様式）又は「④志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用）」（様式）を使用する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>
3. 医学類の「⑨第一次選考結果通知用封筒」については、志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。**切手貼付不要。**
4. 学校教育学類音楽教育専修の「⑩その他」については、選択受験種目において声楽実技又はピアノ実技を選択した者は、演奏する2曲の楽譜の写しを提出してください。（詳しくは37ページを参照してください。）
5. 学校教育学類保健体育専修の「⑩その他」については、「⑦スポーツ活動実績書」に記入した成績等を証明する資料を提出してください。（詳しくはスポーツ活動実績書裏面の記入例及び記入上の注意を参照してください。）
6. 地域創造学類健康スポーツコースの「⑩その他」については、「⑧スポーツ活動に関する調査書」に記入した成績等を証明する資料を提出してください。（詳しくはスポーツ活動に関する調査書裏面の記入上の注意を参照してください。）
7. 医学類特別枠の「⑩その他」については、出願時までに石川県又は富山県の修学資金貸与に係る申請を行い、面接等の選考の結果、交付された**石川県知事又は富山県知事の推薦書**を提出してください。（詳しくは38ページを参照してください。）

推
出
薦
入
手
試
続

4. 推薦入試Ⅱにおける大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認表

大学入試センター試験で、志望する学域学類等が課す教科・科目を必ず受験するように各自で必ずチェックして出願してください。なお、この表は提出する必要はありません。

【留意事項】

1. 大学入試センター試験の「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
2. 大学入試センター試験の「理科」のうち、「基礎を付した科目」（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）から2科目を選択するように指定している学校教育学類（社会科教育専修、数学教育専修）においては、「基礎を付していない科目」（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。
3. 大学入試センター試験の配点等について
 - (1) 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を採用します。
ただし、「地理歴史」「公民」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を採用します。なお、**第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格**となります。
（「地理歴史」「公民」及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
 - (2) 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点となるように圧縮し、他の外国語と比較できるようにして利用します。
なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除となる重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。
また、入学選抜の配点にあたっては、学域学類等に示されているセンター試験の「外国語」の配点に換算します。
4. 各学類の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてありますので、必ず参照してください。

志望する学域・学類等		志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
		教科	科目名	
人間社会学域	法学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック (地理歴史・公民で2科目 受験する場合は、第1解答 科目として受験すること)
		公民	「倫理、政治・経済」	
		数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
		外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	
計		[4教科5科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目	

【法学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

本ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目		
			教科	科目名			
人間社会学域	学校教育学類	国語教育専修 保健体育専修 家政教育専修 英語教育専修	パターンA	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 2つチェック
				公民	「倫理、政治・経済」	<input type="checkbox"/>	
				数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
				外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック
				計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		
			パターンB	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)
				公民	「倫理、政治・経済」	<input type="checkbox"/>	
				数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック
				理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 から1 から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
				外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック
				計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕		

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】国語教育専修・保健体育専修・家政教育専修・英語教育専修 注意事項

- 大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目〕、以下のように成績を用います。
 - 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 『「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」2科目〕、以下のように成績を用います。
 - 『「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - 『「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- 44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
人間社会学域	学校教育学類	社会科教育専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
			公民	「倫理, 政治・経済」	<input type="checkbox"/> 必須
			数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
			理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック
				又は(*) 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック
			外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
計	〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

*「理科」について、「基礎を付していない科目」(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」) から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

【学校教育学類(推薦入試Ⅱ)】 社会科教育専修 注意事項
44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
人間社会学域	学校教育学類	数学教育専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック 地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること
			公民	「倫理, 政治・経済」	<input type="checkbox"/> 必須
			数学	「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
			理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック
				又は(*) 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック
			外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目		

*「理科」について、「基礎を付していない科目」(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」) から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものと見なし、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

【学校教育学類(推薦入試Ⅱ)】 数学教育専修 注意事項
44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目						
			教科	科目名							
人間社会学域	学校教育学類	理科教育専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須						
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)				
				公民				「倫理、政治・経済」			
			理科	と	} から1	数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック		
						} から2	物理基礎	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 2つチェック
							} から1	物理			
			又は	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		} 2つチェック			
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1つチェック							
計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計	科目							

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】 理科教育専修 注意事項

- (1) 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (2) 44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目
			教科	科目名	
人間社会学域	学校教育学類	音楽教育専修	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須
			外国語	「英語」	<input type="checkbox"/> 必須
			計	〔2教科2科目〕	

【学校教育学類（推薦入試Ⅱ）】 音楽教育専修 注意事項

- 44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目		
			教科	科目名			
人間社会学域	地域創造学類	地域プランニングコース 健康スポーツコース	パターンA	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック
					「日本史B」		
					「地理B」		
				公民	「倫理 政治・経済」	<input type="checkbox"/>	
				数学	「数学I・数学A」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック
					「数学II・数学B」		
			「簿記・会計」 「情報関係基礎」				
			理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック	
				又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	} から1		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック (理科②で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)
			外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック	
			計	〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕 〔6教科7科目〕 又は 〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目	
			パターンB	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	
				地理歴史	「世界史B」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)
「日本史B」							
「地理B」							
公民	「倫理 政治・経済」	<input type="checkbox"/>					
数学	「数学I・数学A」	} から1		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック			
	「数学II・数学B」						
	「簿記・会計」 「情報関係基礎」						
理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック				
	と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	} から1		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック			
又は	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	} から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つチェック				
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	} から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つチェック				
計	〔5教科7科目〕 又は 〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目				

【地域創造学類（推薦入試Ⅱ）】 地域プランニングコース・健康スポーツコース 注意事項

- 大学入試センター試験は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
 - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を採用した場合は3科目）。
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
 - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- 44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目		
			教科	科目名			
医薬保健学域	医学類	一般枠 特別枠 (石川県枠) (富山県枠)	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須		
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)		
				公民		「倫理、政治・経済」	
				数学		「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック
			理科		「物理」 と 「化学」	<input type="checkbox"/> 必須	
					外国語	「英語」	
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目				

【医学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

44ページの【留意事項】を参照してください。

志望する学域・学類等			志望する学域・学類等が課す教科・科目		受験する科目		
			教科	科目名			
医薬保健学域	保健学類	放射線技術科学 専攻 検査技術科学 専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須		
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック (地理歴史・公民で2科目受験する場合は、第1解答科目として受験すること)		
				公民		「倫理、政治・経済」	
				数学		「数学I・数学A」 と 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	} から1 <input type="checkbox"/> } 1つチェック
			理科		「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	} から2 <input type="checkbox"/> } 2つチェック	
					外国語		
計	〔5教科7科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目				

【保健学類（推薦入試Ⅱ）】 注意事項

44ページの【留意事項】を参照してください。

5. 受験票の送付

(1) 推薦入試 I

平成28年11月10日(木)頃発送します。

なお、11月17日(木)までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先 076-264-5169, 5177~5179

(2) 推薦入試 II

平成28年12月28日(水)頃発送します。

なお、1月6日(金)までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先 076-264-5169, 5177~5179

IV. 合格者発表

合格者の受験番号を学内掲示場及び金沢大学Webサイトにより発表します。

合格者には、合格通知書・入学手続要項を送付します。出身学校長には、選抜の結果を通知します。

なお、電話等による合否の照会には応じません。

金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

1. 発表日時

(1) 推薦入試 I (人文学類, 経済学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 自然システム学類, 保健学類)

……………平成28年12月 7日(水) 午後3時(予定)

(国際学類) ……………平成28年12月14日(水) 午後3時(予定)

(国際学類の第1次選考合格者発表は、平成28年11月17日(木) 午後3時(予定)です。第1次選考結果通知書については、志願者全員に送付します。)

(2) 推薦入試 II (法学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 保健学類)

……………平成29年2月6日(月) 午後4時(予定)

(医学類) ……………平成29年2月8日(水) 午後4時(予定)

※ 医学類第1次選考合格者発表について

医学類第1次選考合格者発表…平成29年2月2日(木) 午前10時(予定)

医学類の第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者の受験番号を、第1次選考を実施しなかった場合は実施しなかった旨をそれぞれ平成29年2月2日(木) 午前10時(予定)に医学類F棟1階掲示場(正面玄関・宝町キャンパス)及び金沢大学(医学類)Webサイトにおいて発表します。

なお、受験者、出身学校長に対して第1次選考結果又は第1次選考を実施しなかった旨の通知書を送付しますが、受験者は金沢大学(医学類)Webサイトを確認の上、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者について、第1次選考を実施しなかった場合は受験者全員について、受験票と共に送付した「面接試験受験上の注意」を参照の上、2月6日(月)の面接試験開始時刻(午前9時)の20分前までに面接控室に入室してください。

金沢大学(医学類)Webサイト <http://www.med.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

2. 発表場所

学域・学類等		発表場所	学域・学類等		発表場所
人間 社会 学域	人文学類	人文学類掲示場 (角間キャンパス)	理工 学域	自然システム学類	自然科学本館正面玄関 (角間キャンパス)
	法学類	法学類掲示場 (角間キャンパス)			
	経済学類	経済学類掲示場 (角間キャンパス)	医薬 保健 学域	医学類	医学類F棟1階掲示場 (正面玄関) (宝町キャンパス)
	学校教育学類	学校教育学類掲示場 (角間キャンパス)			
	地域創造学類	地域創造学類掲示場 (角間キャンパス)		保健学類	保健学類1号館正面玄関 (鶴間キャンパス)
	国際学類	国際学類掲示場 (角間キャンパス)			

(注) 合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

(電話 076-264-5169, 5177~5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

V. その他

1. 推薦入試に合格しなかった場合の取り扱い

推薦入試に合格しなかった者のうち、一般入試（前期日程、後期日程）で各学類が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般入試（前期日程、後期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般入試（前期日程、後期日程）の個別学力検査等を受験することができます。

(1) 一般入試の受験を希望する場合は、次の点に注意してください。

- ① 大学・学部（学域学類）等により、大学入試センター試験で課す教科・科目等が異なる場合があります。
- ② 出願することができるのは、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部（学域学類）です。
したがって、「前期－後期」の併願は認められますが、「前期－前期」、「後期－後期」の併願は認められません。

(2) 本学の一般入試に出願する場合の概要は、次のとおりです。

① 出願期間

平成29年1月23日(月)～2月1日(水)

書類の提出は郵送に限るものとし、平成29年2月1日(水)までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、平成29年1月30日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

② 提出書類・その他

「平成29年度金沢大学学生募集要項」（一般入試）を参照してください。

2. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 推薦入試 I

- ① 入学手続期間 平成29年2月9日(木)～2月14日(火)(必着)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送のみとします。持込みによる手続は行いません。**

(2) 推薦入試 II (法学類, 学校教育学類, 地域創造学類, 保健学類)

- ① 入学手続期間 平成29年2月9日(木)～2月14日(火)(必着)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送のみとします。持込みによる手続は行いません。**

(3) 推薦入試 II (医学類)

- ① 入学手続期間 平成29年2月14日(火)～2月15日(水)
- ② 提出先 金沢大学学生部入試課(角間キャンパス)
- ③ 入学手続方法 **郵送は2月14日(火)必着, 持込は2月14日(火), 2月15日(水)**

(4) 共通

① 提出書類

- ア 本学受験票(推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない推薦入試) 合格者のみ)
- イ 大学入試センター試験受験票(推薦入試 II (大学入試センター試験を課す推薦入試) 合格者のみ)
- ウ 入学料の振込金証明書
- エ 学生証作成票(本学所定の様式(写真貼付))
- オ 出願時に提出した外部試験のスコアの原本(国際学類合格者のみ)
- カ 卒業証明書(卒業見込みの資格で出願した者のみ)^(注)

(注) 卒業証明書は、入学手続期間ではなく、入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

② 入学料 282,000円(予定)

(注) 上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については78ページを参照してください。

③ 留意事項

- ア 本学の推薦入試合格者は、入学辞退許可を得た場合を除き、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)の個別学力検査(一般入試)を受験しても合格者とはなりません。
- イ 入学を辞退する場合は、出身学校長と連署で2月14日(火)までに入学辞退願(任意様式)により本学学長に願い出て入学辞退許可を得なければなりません。
- ウ 入学手続期間中に入学手続を完了しない者は合格者としての権利を失い、他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます。)の個別学力検査(一般入試)を受験しても合格者とはなりません。
- エ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、76ページから78ページを参照してください。

帰国子女入試

1. 募集人員

学域・学類等		募集人員	
人間社会学域	人文学類	若干名	
	法学類	若干名	
	経済学類	若干名	
	地域創造学類	若干名	
	国際学類	若干名	
理工学域	数物科学類	若干名	
	物質化学類	若干名	
	機械工学類	若干名	
	電子情報学類	若干名	
	環境デザイン学類	若干名	
	自然システム学類	若干名	
医薬保健学域	医学類	若干名	
	薬学類・創薬科学類	若干名	
	保健学類	看護学専攻	若干名
		放射線技術科学専攻	若干名
		検査技術科学専攻	若干名
		理学療法学専攻	若干名
	作業療法学専攻	若干名	

- (注) 1. 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
 2. 薬学類（6年制）、創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

2. 出願資格

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの

- 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成27年（2015年）4月から平成29年（2017年）3月までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
- 外国の教育制度に基づく教育機関において2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で平成29年（2017年）3月までに卒業見込みのもの
- スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成27年（2015年）4月から平成29年（2017年）3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの
- ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成27年（2015年）4月から平成29年（2017年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの
- フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成27年（2015年）4月から平成29年（2017年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの

- (注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含まれません。
 2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が1年以上経過した者は出願できません。

[出願資格の確認について]

出願前に出願資格の有無について確認を希望する場合は、下記の期限までに、氏名・生年月日・国籍・学歴（小学校入学から）を記載した書類、日本の高等学校に相当する学校の卒業（見込み）証明書及び成績証明書を学生部入試課入学試験係に送付してください。特にインターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、出願が認められないケースや出願資格の確認に時間がかかる場合があるので、早めに照会してください。

なお、これらの書類のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

① 期限

人間社会学域（経済学類、国際学類）	平成28年（2016年）10月13日（木）
人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、理工学域全学類、医薬保健学域全学類	平成29年（2017年）1月6日（金）

② 書類送付先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課入学試験係

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す個別学力検査等のすべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 文 学 類	人 文 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 国語（国語総合） 外国語（「英語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）」、 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」から1） 4. 配点：国 語 100点 外国語 100点 面 接 200点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。</p>
	法 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 国語（国語総合）の内の現代文 4. 配点：国 語 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：① 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 他人の考えを理解する能力を備えているか。 ③ 論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④ 社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。</p>
社 会 学 類	経 済 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：帰国子女入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された<i>Economist</i>、<i>Fortune</i>に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。 3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。 成績証明書（調査書）：平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。</p>
	地 域 創 造 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 小論文：地域創造に関することを論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する基礎的知識、思考能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、勉学意欲や地域創造学類への適格性等を総合的に評価します。</p>
国 際 学 類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の審査、外部試験の成績 外部試験：TOEFL iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれかのスコア 3. 第1次選考結果は、平成28年（2016年）11月17日（木）に本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は、面接の参考とします。 〈第2次選考評価基準〉 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか。 ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。 5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。 	

学域・学類等		選 抜 方 法
理	数 物 科 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、面接の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B)</p> <p>4. 配点:数 学 450点 面 接 450点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接:質問に対する理解度,勉学意欲,基礎的知識等を評価します。 成績証明書(調査書):理数系科目について,総合的な観点から評価します。</p>
	物 質 化 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (化学基礎・化学) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>
工	機 械 工 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 250点 理 科 200点 外国語 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>
	電 子 情 報 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>
学	環 境 デ ザ イ ン 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理,化学基礎・化学から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>
	自 然 シ ス テ ム 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物,地学基礎・地学から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>
域	自 然 シ ス テ ム 学 類	<p>1. 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。</p> <p>3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理,化学基礎・化学,生物基礎・生物,地学基礎・地学から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)</p> <p>4. 配点:数 学 200点 理 科 150点 外国語 150点</p> <p>〈採点・評価基準〉 成績証明書(調査書):総合的に評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法
医 薬	医学類	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理）と（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：数 学 200点 理 科 200点（物理（100点）、化学（100点）） 外国語 200点 面 接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：勉学意欲と資質等を判断するための多面的試問を行います。 成績証明書（調査書）：履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料とします。
	薬学類・創薬科学類	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）、面接の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 数 学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B） 理 科（物理基礎・物理）と（化学基礎・化学） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：数 学 300点 理 科 600点（物理（300点）、化学（300点）） 外国語 300点 面 接 600点 〈採点・評価基準〉 面 接：大学入試センター試験に代えて学力を評価し、素質・適性を見ます。
保 健 学 域	看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査（前期日程）で課す教科・科目名 理 科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1） 外国語（コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 4. 配点：理 科 200点 外国語 200点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。

- (注) 1. 個別学力検査の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」は、リスニングテストを課します。
2. 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。
 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」…それぞれ全範囲を出題範囲とします。
 「数学B」……………「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
 「物理基礎・物理」…「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
 「化学基礎・化学」…「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。
 「生物基礎・生物」…「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。
 「地学基礎・地学」…「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等		試 験 期 日 ・ 試 験 時 間	
人 間 社 会 学 域	人文学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	外国語 9:20~10:50 国 語 11:50~13:20 面 接 14:00~
	法学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	国 語 11:50~13:20 面 接 14:30~ (おおよその時間帯を事前に通知します。)
	経済学類	平成28年（2016年） 11月26日（土） 平成28年（2016年） 11月27日（日）	小論文Ⅰ 9:30~11:30 小論文Ⅱ 13:00~14:30 面 接 9:00~
	地域創造学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	小論文 9:20~10:50 面 接 11:40~
	国際学類	平成28年（2016年） 12月 3日（土） 第2次選考	面 接 9:00~
理 工 学 域	数物科学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	面 接 13:00~ 数 学 15:10~17:10
	物質化学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:30 数 学 15:10~17:10
	機械工学類		
	電子情報学類		
	環境デザイン学類		
	自然システム学類		
医 薬 保 健 学 域	医学類	平成29年（2017年） 2月25日（土） 平成29年（2017年） 2月26日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:50 数 学 15:10~17:10 面 接 9:00~
	薬学類・創薬科学類	平成29年（2017年） 2月25日（土） 平成29年（2017年） 2月26日（日）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~13:50 数 学 15:10~17:10 面 接 13:00~
	保健学類	平成29年（2017年） 2月25日（土）	外国語 9:20~10:50 理 科 11:50~12:50

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

5. 出願期間

書類の提出は、郵送に限るものとし、下記の期間に必着するよう提出してください。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**人間社会学域（経済学類、国際学類）は、平成28年（2016年）10月26日（水）まで、人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、理工学域及び医薬保健学域は、平成29年（2017年）1月18日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

学域・学類等		出 願 期 間
人間社会学域	人文学類	平成29年（2017年）1月17日（火）～1月20日（金）（必着）
	法学類	
	経済学類	
	地域創造学類	
	国際学類	
理工学域	数物科学類	平成29年（2017年）1月17日（火）～1月20日（金）（必着）
	物質化学類	
	機械工学類	
	電子情報学類	
	環境デザイン学類	
	自然システム学類	
医薬保健学域	医学類	平成29年（2017年）1月17日（火）～1月20日（金）（必着）
	薬学類・創薬科学類	
	保健学類	

6. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「帰国子女入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある「推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試用」用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、国際学類の第1次選考で不合格となった者には、入学検定料の内、13,000円を返還します。については、入学検定料一部返還請求書を送付しますので、平成29年2月28日（火）までに返還手続を行ってください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

①	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ・写真票 ・入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。 (平成29センター試験成績請求票は不要)</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手 ② 確認はがき：52円分の切手</p> <p>記入の際は「平成29年度金沢大学入学志願票記入例 帰国子女入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
---	--	--

①	<p>・入学検定料振込金 証明書貼付用紙</p> <p>(①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。)</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注)1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。</p> <p>2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続を行うことができますので、平成29年2月28日（火）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。</p> <p style="text-align: right;">担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
②	卒業証明書及び成績証明書	<p>出願資格（1）の該当者は、日本の高等学校に相当する出身学校の卒業証明書（又は見込み証明書）及び同出身学校の学業成績証明書。</p> <p>なお、日本の高等学校若しくは中等教育学校に在籍したことがある場合は、当該在学学校長が作成・厳封した調査書を併せて提出してください。</p> <p>出願資格（2）の該当者は、日本の高等学校若しくは中等教育学校の卒業見込み証明書と当該在学学校長が作成・厳封した調査書及び外国の高等学校に相当する出身学校の学業成績証明書。</p> <p>出願資格（3）の該当者は、国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書。</p> <p>出願資格（4）の該当者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書。</p> <p>出願資格（5）の該当者は、バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績評価証明書。</p>
③	身上調書（帰国子女入試用）	本要項に添付の用紙により作成してください。
④	推薦書 （人間社会学域法学類・経済学類・国際学類のみ）	本要項に添付の用紙により出身学校長が作成したもの。出身学校長の作成する推薦書に代えて、本要項に添付の自己推薦書（帰国子女入試用）を作成して提出してもかまいません。
⑤	志願理由書（推薦入試・帰国子女入試用） （人間社会学域法学類・経済学類・国際学類のみ）	本要項に添付の用紙により作成してください。 （詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。）
⑥	第一次選考結果通知用封筒 （人間社会学域国際学類のみ）	志願者の郵便番号、住所、氏名を明瞭に記入してください。 切手貼付不要。
⑦	保護者の海外在留証明書	在外公館又は保護者の所属する機関（あるいは会社）の長が作成したもの。（滞在期間、在留地を明記したもので様式は自由）
⑧	パスポートの写し又は住民票の写し等	日本の国籍又は日本国の永住許可を得ている証明書。
⑨	外部試験のスコア（写し） （人間社会学域国際学類のみ）	<p>TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC-CBTのいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。</p> <p>(注) 出願期間最終日（平成28年10月28日）時点で有効なスコアに限ります。</p> <p>インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。</p> <p>出願時に提出した成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。</p> <p>上記原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。</p>

(注) 提出書類（厳封された書類を除きます。）のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

7. 受験票の送付

(1) 人間社会学域（経済学類，国際学類）

平成28年（2016年）11月10日（木）頃発送します。

なお，11月17日（木）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には，学生部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先 076-264-5169, 5177～5179

(2) 人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域，医薬保健学域

平成29年（2017年）2月9日（木）頃発送します。

なお，2月16日（木）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には，学生部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先 076-264-5169, 5177～5179

8. 合格者発表

学域・学類等		発表日時	発表場所	備考
人間社会学域	人文学類	平成29年（2017年） 3月7日（火）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	合格者発表は，受験番号のみを掲示します。 合格者には，合格通知書・入学手続要項を送付します。
	法学類	平成29年（2017年） 3月7日（火）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	
	経済学類	平成28年（2016年） 12月7日（水）午後3時（予定）	経済学類掲示場 （角間キャンパス）	
	地域創造学類	平成29年（2017年） 3月7日（火）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	
	国際学類	平成28年（2016年） 12月14日（水）午後3時（予定） （国際学類の第1次選考合格者発表は，平成28年11月17日（木）午後3時（予定）です。第1次選考結果通知書については，志願者全員に送付します。）	国際学類掲示場 （角間キャンパス）	
理工学域	数物科学類	平成29年（2017年） 3月7日（火）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	
	物質化学類			
	機械工学類			
	電子情報学類			
	環境デザイン学類			
	自然システム学類			
医薬保健学域	医学類	平成29年（2017年） 3月7日（火）午後2時（予定）	大学会館前掲示場 （角間キャンパス）	
	薬学類・創薬科学類			
	保健学類			看護学専攻
				放射線技術科学専攻
				検査技術科学専攻
				理学療法学専攻
作業療法学専攻				

(注) 金沢大学Webサイトでも，合格者（受験番号）を発表します。

金沢大学（入試情報）Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

合格者であるにもかかわらず，合格通知書等が届かない場合は，下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

（電話 076-264-5169, 5177～5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp）

9. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

人間社会学域（経済学類，国際学類）

平成29年(2017年)2月9日(木)～2月14日(火)(必着)

(郵送のみとします。持ち込みによる手続きは行いません。)

人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域及び医薬保健学域

平成29年(2017年)3月15日(水)まで

(郵送は3月14日(火)必着，持込みは3月15日(水)のみ)

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

- ① 本学受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 学生証作成票（本学所定の様式（写真貼付））
- ④ 出願時に提出した外部試験のスコアの原本（国際学類合格者のみ）
- ⑤ 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）^(注)

(注) 経済学類，国際学類の入学手続者は，卒業証明書を入学手続期間ではなく，入学後の学類オリエンテーション時に提出してください。

(4) 入学料 282,000円（予定）

(注) 上記の金額は予定額であり，入学時に入学料が改定された場合には，改定時から新入学料が適用されます。なお，授業料の納入については，78ページを参照してください。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については，76ページから78ページを参照してください。

国際バカロレア入試

1. 募集人員

各学域学類とも若干名（医薬保健学域医学類については実施しない）

(注) (1) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。

(2) 薬学類（6年制）、創薬科学類（4年制）の選抜は一括で実施します。各学類への所属は3年次後期からとなります。

2. 出願資格

次の(1)～(3)のいずれにも該当する者

(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成29年（2017年）3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの

(2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成29年（2017年）3月までに該当する見込みの者

① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者

ただし、人文学類、法学類、経済学類、地域創造学類、国際学類、自然システム学類においては、言語B（HL）を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。

② 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者

学 域	学類・専攻	指定する科目等	
人間社会学域	人文学類	ディプロマスコア35以上	
	法学類	グループ3から1科目（HL成績評価4以上）	
	経済学類	指定なし	
	学校教育学類	グループ2～6から1科目（HL成績評価4以上）	
	地域創造学類	指定なし	
	国際学類	指定なし	
理工学域	数物科学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	物質化学類	数学（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	機械工学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上）	
	電子情報学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上）	
	環境デザイン学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	自然システム学類	数学、物理、化学、生物から1科目（HL成績評価4以上）	
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	保健学類	看護学専攻	物理、化学、生物から1科目（HL成績評価4以上）
		放射線技術科学専攻	
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
	作業療法学専攻		

※HLはHIGHER LEVELを表す。

(3) 本学での勉学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す小論文、面接・口述試験すべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	人文学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格や志願理由が人文学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 口 述 試 験：多面的な試問（関連する日本語あるいは外国語の文章・資料等を提示して回答を求めることもあります）を行い、学習意欲などの資質や人文学類で学習を進めるのに必要な知識・理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。</p>
	法学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 面 接：① 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ② 他人の考えを理解する能力を備えているか。 ③ 論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④ 社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。</p>
	経済学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。小論文は以下の小論文Ⅰと小論文Ⅱからなります。 小論文Ⅰ：国際バカロレア入試（小論文Ⅰ実施日）前日から過去5年間に発行された <i>Economist</i>, <i>Fortune</i> に掲載された英文の記事や論説から出題し、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。なお、英和辞典を貸与します。 小論文Ⅱ：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度（日本語）で論述させます。 3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 小 論 文：現代の文化・社会・経済に関する英文及び和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。</p>
	学校教育学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力試験を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：成績評価証明書、身上調書、志願理由書等は、平素の学習活動の成果について確認し、勉学意欲・資質等を判断するための評価資料として、面接の参考にします。 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲や資質、学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。</p>
	地域創造学類	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等、小論文及び面接の結果により総合して行います。 小論文：地域創造に関することを日本語で論述させます。 3. 配点：小 論 文 100点 面 接 100点 <p>〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格を確認する資料、身上調書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小 論 文：地域創造に関わる課題に対する思考能力、分析能力、論述能力を総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、地域創造学類での学習意欲、課題への関心、資質等を総合的に評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法
人間 社会 学域	国際学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格や志願理由が国際学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 面 接：① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか
	数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報学類 環境デザイン学類 自然システム学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 面 接：理工学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
医 薬 保 保 健 健 学 学 域	薬学類・創薬科学類	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接試験の結果により総合して行います。 〈採点・評価基準〉 面 接：生命科学、生命薬学の領域において、国際的に活躍し、薬学の課題解決に主体的に取り組む勉学意欲と資質等を判断するための諮問を行います。
	看護学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類など（志願理由を含む）：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。
	放射線技術科学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類など（志願理由を含む）：総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、医療人としての適格性や放射線技術科学専攻での勉学意欲などを総合的に評価します。
	検査技術科学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験（提出書類を含む） 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 口 述 試 験：理系能力ならびに医療人としての適性について評価します。
	理学療法学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接（提出書類を含む） 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適性を評価します。
	作業療法学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、提出書類等及び面接の結果により総合して行います。 3. 配点：面 接 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類：総合的に評価します。 面 接：医療人としての適性を評価します。

4. 試験期日・試験時間

学域・学類等		試験期日・試験時間	
人間社会学域	人文学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	口述試験 10:00～
	法学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	面接 9:30～
	経済学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	小論文Ⅰ 9:30～11:30 小論文Ⅱ 13:00～14:30
		11月27日（日）	面接 9:00～
	学校教育学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	面接 10:00～
	地域創造学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	小論文 9:00～10:30 面接 13:00～
国際学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	面接 9:00～	
理工学域	数物科学類	平成28年（2016年）11月26日（土）	面接 13:00～
	物質化学類		
	機械工学類		
	電子情報学類		
	環境デザイン学類		
	自然システム学類		
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類		平成28年（2016年）11月26日（土） 面接 10:00～
	保健学類	看護学専攻	平成28年（2016年）11月26日（土） 面接 9:00～
		放射線技術科学専攻	
		検査技術科学専攻	平成28年（2016年）11月26日（土） 口述試験 9:00～
		理学療法学専攻	平成28年（2016年）11月26日（土） 面接 9:00～
		作業療法学専攻	

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

5. 出願期間

平成28年10月24日（月）～平成28年10月28日（金）

書類の提出は郵送に限るものとし、平成28年10月28日（金）までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**平成28年（2016年）10月26日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

6. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「国際バカロレア入試」を赤マルで囲んで、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある「推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試用」用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ・写真票 ・入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。(平成29センター試験成績請求票は不要)</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>①切手貼付用紙：362円分の切手 ②確認はがき：52円分の切手</p> <p>記入の際は「平成29年度金沢大学入学志願票記入例 国際バカロレア入試」(入学願書提出用封筒に同封)を参照してください。</p>
①	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料振込証明書貼付用紙 <p>(①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。)</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書(提出用)」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書(本人控)」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協)窓口から振り込んでください。(ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。)振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>(注) 1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。 2 ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、平成29年2月28日(火)までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続きの際は「領収書(本人控)」及び「入学検定料振込金証明書(提出用)」が必要になります。</p> <p style="text-align: right;">担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
②	<p>出願資格を証明する書類</p> <p>(国際バカロレア資格証書(写し)及び成績評価証明書等)</p>	<p>【国際バカロレア資格 (IBフルディプロマ) 取得者】</p> <p>国際バカロレア事務局(International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。</p> <p>【国際バカロレア資格 (IBフルディプロマ) 取得見込み者】</p> <p>出身学校長、進路指導担当者が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書(任意様式)及びIBディプロマ「Predicted Grades(予測スコア)」を提出してください。</p> <p>国際バカロレア資格取得見込みで出願した者が条件付合格となった場合は、国際バカロレア事務局(International Baccalaureate Office)が授与する国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を平成29年(2017年)2月14日(火)までに提出してください。</p> <p>国際バカロレア資格証書の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を期限までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、平成29年(2017年)3月31日(金)までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者で、合計点及び各科目の得点が出願時の見込みの得点よりも下回った場合は、合格を取り消す場合があります。</p>
③	<p>身上調査書(国際バカロレア入試用)</p>	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。</p>
④	<p>志願理由書(国際バカロレア入試用)</p>	<p>本要項に添付の用紙により作成してください。(詳しくは、志願理由書裏面の記入上の注意を参照してください。)</p>
⑤	<p>パスポートの写し</p>	<p>姓名及び国籍が記載されたページを提出してください。(外国籍の場合のみ)</p>
⑥	<p>在留カード(表・裏)の写し</p>	<p>出願時に日本に居住している者(在留資格が「短期滞在」の者は除く)は、在留カードの写しを提出してください。(外国籍の場合のみ)</p>

(注) 提出書類(厳封された書類を除きます。)のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

7. 受験票の送付

平成28年（2016年）11月10日（木）頃発送します。

なお、11月17日（木）までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177～5179

8. 合格者発表（条件付合格者発表）

合格者（条件付合格者）の受験番号を学内掲示場及び金沢大学 Web サイトにより発表します。

合格者には、「合格通知書」とともに「入学手続要項」等を送付します。

国際バカロレア資格の取得見込みで出願し合格した者には、「条件付合格通知書」とともに「入学手続要項」等を送付します。

（注）国際バカロレア資格を取得見込みで出願し合格した者が、国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書を平成29年（2017年）2月14日（火）までに本学が受領できない場合又は国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が平成29年（2017年）3月31日（金）までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。また、国際バカロレア資格の取得見込みで出願した者で、合計点及び各科目の得点が出願時の見込みの得点よりも下回った場合は、合格を取り消す場合があります。

金沢大学（入試情報）Web サイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

(1) 発表日時

平成28年（2016年）12月7日（水）午後3時（予定）

(2) 発表場所

学域・学類等		発表場所	学域・学類等		発表場所	
人間社会学域	人文学類	人文学類掲示場 (角間キャンパス)	理工学域	数物科学類	自然科学本館正面玄関 (角間キャンパス)	
	法学類	法学類掲示場 (角間キャンパス)		物質化学類		
	経済学類	経済学類掲示場 (角間キャンパス)		機械工学類		
	学校教育学類	学校教育学類掲示場 (角間キャンパス)		電子情報学類		
	地域創造学類	地域創造学類掲示場 (角間キャンパス)		環境デザイン学類		
	国際学類	国際学類掲示場 (角間キャンパス)	自然システム学類			
			医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	自然科学本館正面玄関 (角間キャンパス)	
				保健学類	看護学専攻	保健学類1号館正面玄関 (鶴間キャンパス)
					放射線技術科学専攻	
					検査技術科学専攻	
					理学療法学専攻	
				作業療法学専攻		

（注）合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

（電話 076-264-5169, 5177～5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp）

9. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」等とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

平成29年（2017年）2月9日（木）から2月14日（火）（必着）

（郵送のみとします。持ち込みによる手続は行いません。）

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

- ① 本学受験票
- ② 入学料の振込金証明書
- ③ 学生証作成票（本学所定の様式（写真貼付））
- ④ 国際バカロレア資格証書の写し及びI B最終試験6科目の成績証明書（条件付合格者のみ）

(4) 入学料 282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については、78ページを参照してください。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、76ページから78ページを参照してください。

私費外国人留学生入試

1. 募集人員

各学域学類とも若干名

2. 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の①及び②に該当するもの

① 次のいずれかに該当する者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年（2017年）3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成29年（2017年）3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年（2017年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年（2017年）3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年（2017年）3月31日までに18歳に達するもの

② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度（2015年度）又は平成28年度（2016年度）日本留学試験を受験した者（薬学類及び創薬科学類を除きます。）

注意事項

入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合、「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また、短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。

3. 出願条件

機械工学類については、日本留学試験において、指定された科目の合計点の得点率が60%を超えていること。

[出願資格の確認について]

出願前に出願資格の有無について確認を希望する場合は、平成29年（2017年）1月6日（金）までに、氏名・生年月日・国籍・学歴（小学校入学から）を記載した書類、日本の高等学校に相当する学校の卒業（見込み）証明書及び成績証明書を送付してください。

なお、これらの書類のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

書類送付先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課入学試験係

4. 実施教科・科目等

学域・学類等		日本留学試験の利用する教科・科目等 (注1参照)							英語能力	学力検査等 (注4参照)		
		日本語	総合科目	数学	理 科			出題言語			利用試験 (注2参照)	
					物理	化学	生物					
人間社会学域	人文学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択				日本語 又は 英語	TOEFL	国語 (国語総合) の内の現代文 面接		
	法学類							日本語			小論文と面接	
	経済学類											
	学校教育学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択					日本語 又は 英語	6月又は 11月	学力検査等で 外国語を課す。 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニ ケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・ 英語表現Ⅱ)	国語 (国語総合) 数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接
		◎		又は ◎ コース1 又は コース2 より選択	◎	◎	◎	2科目選択				
	地域創造学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択					日本語	TOEFL	小論文と面接	
国際学類	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より選択					日本語	TOEFL	小論文と面接		
理工学域	数物科学類	◎		◎ コース2	◎			日本語 又は 英語	6月又は 11月	TOEFL	面接	
	物質化学類											
	機械工学類	◎		◎ コース2	◎	◎						
	電子情報学類											
環境デザイン学類												
自然システム学類	◎		◎ コース2		◎	◎	◎	2科目選択				
医薬保健学域	医学類	◎		◎ コース2	◎	◎	◎	2科目選択	日本語	6月又は 11月	TOEFL	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理) と (化学基礎・化学) 面接
	薬学類											数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B) 理科 (物理基礎・物理) と (化学基礎・化学) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 面接
	創薬科学類 (注3参照)				課さない							
	看護学専攻											
保健学類	放射線技術科学専攻										TOEFL	小論文と面接
	検査技術科学専攻	◎										
	理学療法学専攻			◎ コース2	◎	◎	◎	2科目選択	日本語	6月又は 11月		
	作業療法学専攻											

- (注) 1. ◎は必須科目, ○は選択科目を示します。
 2. 日本留学試験は、平成27年度 (2015年度) 又は平成28年度 (2016年度) の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。
 3. 医薬保健学域の薬学類 (6年制) と創薬科学類 (4年制) の選抜は一括で実施します。各学類への所属は、3年次後期からとなります。
 4. 学力検査等の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。
 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」…それぞれ全範囲を出題範囲とします。
 「数学B」…「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
 「物理基礎・物理」…「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。
 「化学基礎・化学」…「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。
 「生物基礎・生物」…「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。
 「地学基礎・地学」…「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

5. 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、平成27年度（2015年度）又は平成28年度（2016年度）日本留学試験（薬学類及び創薬科学類を除く）、学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

成績証明書（調査書）は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

志望する学域学類等が課す日本留学試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	人文学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。 3 配点 日本留学試験 85点 TOEFL 25点 国語 40点 面接 100点 〈採点・評価基準〉 面 接：大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。
	法学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。 3 配点 日本留学試験 85点 TOEFL 25点 国語 100点 面接 90点 〈採点・評価基準〉 面 接：日本語による試問を通じて、日本語能力、法学・政治学に対する勉学意欲と資質を判断します。
	経済学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：日本語の文章を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面 接：高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。
	学校教育学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、学力検査、面接、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 面 接：本学類としての適格性を評価します。（なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的としています。）
	地域創造学類	1 大学入試センター試験を免除します。 2 選抜は、小論文（100点）、面接（100点）、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。 〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する基礎的知識、思考能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：多面的な質問を行い、勉学意欲や地域創造学類への適格性等を総合的に評価します。

学域・学類等		選 抜 方 法
人間社会学域	国際学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点 日本留学試験、TOEFL 110点 小論文 100点 面接 90点</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせ、英語の知識とともに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。 面 接：以下の点を中心に評価します。 ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか</p>
理工学域	数物科学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	物質化学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	機械工学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 出願条件 日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること。</p> <p>3 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	電子情報学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点 日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	環境デザイン学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点 日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>
	自然システム学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点 日本留学試験 600点 TOEFL 200点 面接 200点</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法										
医 薬 保 健 学 域	医学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果に基づいて行います。</p> <p>3 配点</p> <table> <tr> <td>日本留学試験</td> <td>850点</td> </tr> <tr> <td>TOEFL</td> <td>120点</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>200点</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>100点</td> </tr> </table> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：医療人としての適性を評価します。</p>	日本留学試験	850点	TOEFL	120点	数学	200点	理科	200点	面接	100点
	日本留学試験	850点										
	TOEFL	120点										
数学	200点											
理科	200点											
面接	100点											
薬学類・ 創薬科学類	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、学力検査（数学300点、理科600点、外国語300点）、面接の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 面 接：大学入試センター試験に代えて、素質・適性・学力並びに日本語能力を面接により評価します。</p>											
保 健 学 類	<table> <tr> <td>看 護 学 専 攻</td> <td rowspan="5"> <p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、小論文（100点）、面接（100点）、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：日本語能力及び課題に関して本学類の適格性を評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。</p> </td> </tr> <tr> <td>放射線技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> </tr> </table>	看 護 学 専 攻	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、小論文（100点）、面接（100点）、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：日本語能力及び課題に関して本学類の適格性を評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。</p>	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻					
看 護 学 専 攻	<p>1 大学入試センター試験を免除します。</p> <p>2 選抜は、小論文（100点）、面接（100点）、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。</p> <p>〈採点・評価基準〉 小論文：日本語能力及び課題に関して本学類の適格性を評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。</p>											
放射線技術科学専攻												
検査技術科学専攻												
理学療法学専攻												
作業療法学専攻												

6. 試験期日・試験時間

学域・学類		月日（曜日）		2月25日（土）		2月26日（日）	
人間社会学域	人文学類			国語 11:50～13:20	面接 14:00～		
	法学類			国語 11:50～13:20	面接 14:30～		
	経済学類	小論文 9:20～10:50		面接 11:40～			
	学校教育学類 【国語選択】	外国語 9:20～10:50		国語 11:50～13:20	面接 14:20～		
	学校教育学類 【数学選択】			面接 11:40～	数学 14:20～15:50		
	学校教育学類 【理科選択】			理科 11:50～12:50	面接 14:20～		
	地域創造学類	小論文 9:20～10:50		面接 11:40～			
	国際学類	小論文 9:20～11:20			面接 13:30～		
理工学域	数物科学類						面接*
	物質化学類						面接*
	機械工学類						面接*
	電子情報学類						面接*
	環境デザイン学類						面接*
	自然システム学類						面接*
医薬保健学域	医学類			理科 11:50～13:50	数学 15:10～17:10		面接*
	薬学類・創薬科学類	外国語 9:20～10:50		理科 11:50～13:50	数学 15:10～17:10		面接*
	保健学類	小論文 9:20～10:50		面接 11:20～			

* 面接時間等の詳細は受験票送付の際に通知します。

7. 出願期間

平成29年（2017年）1月17日（火）～1月20日（金）

書類の提出は郵送に限るものとし、平成29年（2017年）1月20日（金）までに**必着**とします。

ただし、締切日を過ぎて到着した出願書類のうち、**平成29年（2017年）1月18日（水）までの発信局（日本国内）日付印のある書留速達郵便に限り受理**します。

8. 出願手続

(1) 出願方法

出願書類は、本要項に添付の封筒を使用し、封筒の表の「私費外国人留学生入試」を赤マルで囲んで書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部入試課

(2) 出願書類等

本要項に添付してある「推薦入試・帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試用」用紙を使用し、所定の封筒に次の書類を一括して入れて提出してください。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願票 ・写真票 ・入学試験関係書類送付用切手貼付用紙 ・出願書類受理確認はがき 	<p>本要項に添付の用紙で作成してください。入学願書提出用封筒に同封しています。（平成29センター試験成績請求票は不要）</p> <p>入学試験関係書類送付用切手貼付用紙と出願書類受理確認はがきには必ず切手を貼ってください。切手のないものは送付できません。</p> <p>① 切手貼付用紙：362円分の切手 ② 確認はがき：52円分の切手</p> <p>記入の際は「平成29年度金沢大学入学志願票記入例 私費外国人留学生入試」（入学願書提出用封筒に同封）を参照してください。</p>
<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料振込金証明書貼付用紙 <p>（①欄の用紙は、B4サイズ1枚にまとめられています。切り離さず提出してください。）</p>	<p>入学検定料 17,000円</p> <p>入学検定料振込後、「入学検定料振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、本要項に添付の「入学検定料振込金証明書貼付用紙」欄に貼って提出してください。</p> <p>また、「領収書（本人控）」は、大切に保管してください。</p> <p>〈納入方法〉</p> <p>納入方法は銀行振込です。本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農協・漁協）窓口から振り込んでください。（ゆうちょ銀行・郵便局からの振込みはできません。）振込手数料は、志願者負担となります。ただし、北陸銀行本店からの振込みの場合、手数料はかかりません。</p> <p>（注）1 金融機関の窓口受付終了時刻までに振り込んでください。また、土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。 2 ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。</p> <p>出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。</p> <p>ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続を行うことができますので、平成29年2月28日（火）までに下記担当まで連絡してください。なお、返還手続の際は「領収書（本人控）」及び「入学検定料振込金証明書（提出用）」が必要になります。</p> <p style="text-align: right;">担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5066 E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
<p>②</p> <p>修了証明書及び成績証明書</p>	<p>出願資格①アの該当者 教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）証明書（原本）及び成績証明書（原本）を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格①イの該当者 国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）の写し及びIB最終試験6科目の成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格①ウの該当者 一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書（原本）を提出してください。</p> <p>出願資格①エの該当者 バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及びバカロレア資格試験成績評価証明書（原本）を提出してください。</p>

③	日本留学試験の成績通知書(写し) (薬学類・創薬科学類は除く)	平成27年度(2015年度)又は平成28年度(2016年度)の6月及び11月に実施された日本留学試験のうち、いずれか1回分の成績通知書の写しを提出してください。 なお、上記4回の試験で複数回受験した場合は、その内1回分のみ成績通知書の写しを提出してください。
④	TOEFL成績評価証明書	人文学類、法学類、経済学類、地域創造学類、国際学類、数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報学類、環境デザイン学類、自然システム学類、医学類、薬学類、創薬科学類、保健学類志願者は、出願期間最終日(平成29年(2017年)1月20日)時点で有効なTOEFL-iBT又はTOEFL-PBTの受験者用控えスコアレポート(Test Taker Score Report)(表・裏)の写しを提出してください。 View Scoreをプリントアウトしたものは、成績評価証明書として認めません。 なお、入学手続時には受験者用控えスコアレポートの原本を提出することになりますので、それまで大切に保管してください。
⑤	身上調書(私費外国人留学生用)	本要項に添付の用紙により作成してください。
⑥	パスポートの写し	姓名及び国籍が記載されたページを提出してください。
⑦	在留カード(表・裏)の写し	出願時に日本に居住している者(在留資格が「短期滞在」の者は除く)は、在留カードの写しを提出してください。

(注)・上記のうち、①～⑥は全志願者が提出するものです。⑦は、該当する者のみが提出するものです。

- ・提出書類(厳封された書類は除きます。)のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語の訳文を添付してください。

9. 受験票の送付

平成29年(2017年)2月9日(木)頃発送します。

なお、2月16日(木)までに受験票が到着しない場合及び氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。

連絡先 076-264-5169, 5177~5179

10. 合格者発表

平成29年(2017年)3月7日(火)午後2時(予定)に本学大学会館(角間キャンパス)前の掲示場に受験番号を掲示します。

合格者には合格通知書等を送付します。

(注) 金沢大学Webサイトでも合格者(受験番号)を発表します。

金沢大学(入試情報)Webサイト <http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>

合格者であるにもかかわらず、合格通知書等が届かない場合は、下記に問い合わせてください。

問合せ先 学生部入試課入学試験係

(電話 076-264-5169, 5177~5179, E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

11. 入学手続

入学手続期間及び手続方法等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

(1) 入学手続期間

平成29年(2017年)3月27日(月)まで

(郵送は3月26日(日)必着, 持込みは3月27日(月)のみ)

(2) 提出先 金沢大学学生部入試課

(3) 提出書類

① 本学受験票

② 入学料の振込金証明書

③ 学生証作成票(本学所定の様式(写真貼付))

④ TOEFL受験者用控えスコアレポート(Test Taker Score Report)の原本(ETSより郵送されたスコアレポート)

⑤ 卒業証明書(卒業見込みの資格で出願した者のみ)

(4) 入学料 282,000円(予定)

(注) 上記の金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料が適用されます。なお、授業料の納入については、78ページを参照してください。

(5) 留意事項

① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

② 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、76ページから78ページを参照してください。

1. 入学時に必要な経費

(1) 入学科

282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり，入学時に入学科が改定された場合には，改定時から新入学科が適用されます。

(2) その他必要な経費は，次のとおりです。なお，医薬保健学域薬学類・創薬科学類の入学者で3年次後期から薬学類（6年制）に所属となった者は，2年分を改めて納めることになります。

学域・学類	学生教育研究災害 傷害保険料
人間社会学域（全学類）（4年分） 理工学域（全学類）（4年分） 医薬保健学域（薬学類・創薬科学類，保健学類）（4年分）	3,300円
医薬保健学域（医学類）（6年分）	4,700円

詳細は合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照してください。

2. 入学科免除

(1) 入学科免除の対象者

- ① 入学前1年以内（平成28年4月から平成29年3月の間）に学資負担者が死亡し，又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学科の納入が著しく困難である者
- ② 入学前1年以内（平成28年4月から平成29年3月の間）に学資負担者が会社の倒産等やむを得ず失職したことにより，入学科の納入が著しく困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で入学科免除を願い出た者に対し，選考の上，入学科の全額又は半額を免除することがあります。

(2) 入学科免除申請書類の請求

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロードして使用してください。
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/exemption_grace（平成29年度用申請書類は，平成29年1月中旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は，封筒の表に「入学科免除申請書類請求」と朱書きし，申請理由，本人氏名，電話番号，受験学域学類等名，受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号，住所，氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに205円分の切手を貼付）を同封し82ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は，485円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

(3) 入学科免除の申請手続

入学科免除を申請する場合は，申請に必要な各種証明書を不足のないように揃えて入学科免除申請書とともに入学手続書類提出用封筒に同封して，下記申請期間（入学手続期間）中に学生部入試課へ提出してください。

区 分	申請期間（入学手続期間）	提出書類
○推薦入試 ^{※1} ○帰国子女入試 ^{※2}	2月9日（木）～14日（火）	・入学科免除申請書 ・申請書に添付されている証明書に記載してある各種証明書
○推薦入試 ^{※3}	2月14日（火）～15日（水）	
○帰国子女入試 ^{※4}	3月15日（水）まで	
○国際バカロレア入試	2月9日（木）～14日（火）	
○私費外国人留学生入試	3月27日（月）まで	

※1：推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱ（法学類，学校教育学類，地域創造学類，保健学類）

※2：経済学類，国際学類

※3：推薦入試Ⅱ（医学類）

※4：人文学類，法学類，地域創造学類，理工学域全学類，医薬保健学域全学類

(4) 注意事項

- ① 入学科免除の申請者には，選考結果の通知があるまで入学科の納入を猶予しますが，結果通知前に納入された場合は，免除申請を辞退したものととして取り扱います。
- ② 選考の結果，半額免除又は不許可になった者が，告知された日から14日以内に入学科を納入しない場合は，除籍となるので注意してください。
なお，半額免除又は不許可になった場合には，入学科徴収猶予を申請することができます。

3. 入学料徴収猶予

(1) 入学料徴収猶予の対象者

- ① 経済的理由によって納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ学業成績が優秀である者
- ② 入学前1年以内（平成28年4月から平成29年3月の間）に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入期限までに納入が困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で、入学料徴収猶予を願い出た者に対し、選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。

(2) 入学料徴収猶予申請書類の請求

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロードして使用してください。
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/exemption_grace（平成29年度用申請書類は、平成29年1月中旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「入学料徴収猶予申請書類請求」と朱書し、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学類等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに205円分の切手を貼付）を同封し82ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は、485円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

(3) 入学料徴収猶予申請手続

入学料徴収猶予を申請する場合は、申請に必要な各種証明書を不足のないように揃えて入学料徴収猶予申請書とともに入学手続書類提出用封筒に同封して、下記申請期間（入学手続期間）中に学生部入試課へ提出してください。

区 分	申請期間（入学手続期間）	提出書類
○推薦入試 ^{※1} ○帰国子女入試 ^{※2}	2月9日（木）～14日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・入学料徴収猶予申請書 ・申請書に添付されている証明書に記載してある各種証明書
○推薦入試 ^{※3}	2月14日（火）～15日（水）	
○帰国子女入試 ^{※4}	3月15日（水）まで	
○国際バカロレア入試	2月9日（木）～14日（火）	
○私費外国人留学生入試	3月27日（月）まで	

※1：推薦入試Ⅰ及び推薦入試Ⅱ（法学類，学校教育学類，地域創造学類，保健学類）

※2：経済学類，国際学類

※3：推薦入試Ⅱ（医学類）

※4：人文学類，法学類，地域創造学類，理工学域全学類，医薬保健学域全学類

(4) 注意事項

- ① 入学料徴収猶予の申請者には、選考結果の通知があるまで入学料の納入が猶予されます。
- ② 選考の結果、不許可になった者が、告知された日から14日以内に入学料を納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
また、徴収猶予が許可された場合においても、平成29年9月29日（金）までに入学料を納入しなければなりません。納入しない場合は、除籍となるので注意してください。
- ③ 選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。

4. 授業料の納入

授業料の納入方法は、本学指定の銀行が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」になっています。手続きについては、合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を参照してください。
授業料前期（第1・2クォーター）分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

（注）上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

5. 授業料免除

(1) 授業料免除の対象者

- ① 経済的理由によって授業料を納入することが困難であり、かつ、学業成績が優秀である者
- ② 入学前1年以内（平成28年4月から平成29年3月の間）に、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難である者
上記のいずれかの事由に該当する者で、授業料免除を願い出た者に対し、選考の上、納入すべき前期分授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。

(2) 授業料免除申請書類の請求

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロードして使用してください。
http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/tuition_waiver（平成29年度用申請書類は、平成29年1月中旬に掲載予定です。）
- ② 郵便で請求する場合は、封筒の表に「授業料免除申請書類請求」と朱書きし、申請理由、本人氏名、電話番号、受験学域学類等名、受験番号を記入した書類（様式自由）及び受信者の郵便番号、住所、氏名を記入した返信用封筒（角形2号：24cm×33.2cmに205円分の切手を貼付）を同封し82ページの照会先に送付してください。日数に余裕がない場合は485円分の切手（速達料金を含む。）を貼付してください。

(3) 授業料免除申請手続

申請期間	申請書類の提出先	提出書類
平成29年3月13日（月）から4月3日（月）まで（必着） 土曜日及び日曜日を除き午前9時から午後4時まで	合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を参照	・授業料免除申請書 ・申請書に添付されている説明書に記載してある各種証明書

(4) 注意事項

- ① 授業料免除を申請する場合も、「預金口座振替依頼書」は必ず提出してください。
- ② 授業料免除申請者は、選考結果の通知があるまで授業料の納入を猶予しますので、その間、授業料の預金口座振替は行いません。
- ③ 選考のため、調査書の学習成績評定及び入学試験成績を参考とする場合があります。
- ④ 申請は、前期分・後期分でその都度受付けていますが、前期分及び後期分の授業料免除の申請を一括して前期に申請できる（後期分については、申請を一部省略することができる）前期後期一括申請もできます。ただし、以下1～5に該当する者については、前期後期一括申請をすることはできません。後期申請期間内に後期分の申請を行う必要がありますのでご注意ください。
 1. 家族の中に60歳未満で無職（15歳未満の者及び就学者は除く）の者がいる場合
 2. 家族の中に長期療養中の者がいる場合及び家計支持者が別居している場合
 3. 6ヶ月以内に退職金・保険金等一時所得がある世帯の場合
 4. 前期分と後期分で申請内容（家計状況・家族状況・就学状況等）が変わる見込みが少しでもある場合
（例）学生本人が後期からアルバイトをする予定である、社会人である兄弟等が家族と別居し独立する予定であるなど
 5. 年度内に休学、退学を予定している場合また、前期後期一括申請をした場合でも、選考は学期ごとに行います。したがって、前期と後期で、選考結果が異なる場合もあります。（後期授業料免除申請時期：7月下旬から9月初旬予定）

6. 金沢大学学生特別支援制度

本学に在籍する学生の学習・研究意欲を向上させるとともに、学生生活において国際交流・社会貢献に対する意欲を引き出すことを目的とした、本学独自の支援制度があります。

詳細は、各担当係にお問い合わせください。

(http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/special_support 参照)

7. 金沢大学スーパーグローバル大学創成留学生支援奨学金

金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

概要

海外学習奨励費

海外の大学等に留学する本学の学域学生の中から、学業、人物ともに優れている者を選考し、奨学金を給付します。

私費外国人留学生学習奨励費

本学に1年以上在籍する私費外国人留学生の中から、学業、人物ともに優れている者を選考し、奨学金を給付します。

他の支援制度との関係について

(1) 他の奨学金について

日本学生支援機構奨学金等の他の奨学金を給付又は貸与されている場合であっても、本奨学金を申請することは可能です。

(2) 授業料免除制度について

本奨学金を受給していても、本学の授業料免除制度により免除を申請することは可能です。

8. 奨学金

本学で扱っている奨学金には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間育英団体の奨学金があります。主に学業成績が優秀かつ学資支弁の困難な学生を対象とし、学力・家計状況等を審査のうえ、貸与（または給付）の可否が決定されます。

(1) 日本学生支援機構の奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により就学に困難がある方の経済支援を目的とする貸与型の奨学金です。貸与終了後は返還の義務が生じ、貸与期間は原則、所属する課程の標準修業年限です。

① 奨学金の種類等（平成28年度 学域学類生）

種 別	通学区分	貸与月額	備 考
第 一 種 (無利子貸与)	自宅	30,000円	貸与月額は申込時に選択（貸与中に変更可能）。
		45,000円	
	自宅外	30,000円	
		51,000円	
第 二 種 (有利子貸与)	なし	30,000円	
		50,000円	
		80,000円	
		100,000円	
		120,000円	

(ア) 第二種奨学金の利子は年利3%を上限としており、貸与終了後、貸与総額に賦課されます。

(イ) 第一種・第二種の両方（併用貸与）を申し込むことも可能ですが、審査基準はより厳しくなります。

② 申込方法

貸与希望者は、学生部学生支援課が実施する申込説明会に参加してください。日時等の詳細は、入学後に奨学金関係の掲示板等で確認してください。

③ 大学等奨学生採用候補者に決定されている方について

高等学校または中等教育学校在学中に日本学生支援機構奨学金の予約採用を申し込み、「大学等奨学生採用候補者」に決定されている方は、「採用候補者決定通知【進学先提出用】」および「返信用封筒（角形2号、要切手貼付）」を学生部学生支援課へ提出したうえで、「進学届」をインターネット入力により提出してください。詳細は「入学手続要項」および掲示板等で確認してください。

(2) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学へ募集があった奨学金は掲示板等でお知らせしますので、希望する場合は、入学後に奨学金関係の掲示板を確認し、掲示の指示に従って申し込んでください。

また、掲示板等でお知らせする奨学金以外にも、各種団体が直接、個人応募を受け付けている場合があります。

(3) 外国人留学生の奨学金

私費外国人留学生には、主に次のような奨学金の制度があります。募集内容、応募手続等の詳細については、国際機構支援室又は各学類の学務係に問い合わせてください。

奨学団体名	奨学金の内容	支給期間
日本学生支援機構	月額 48,000円	1年
小林国際奨学財団	月額 150,000円	2年
ロータリー米山記念奨学会	月額 100,000円	最長2年
平和中島財団	月額 100,000円	1年
共立国際交流奨学財団	月額 100,000円又は60,000円	2年又は1年
佐川留学生奨学会	月額 100,000円	2年
金沢大学学生特別支援制度外国人留学生修学支援奨学金*	最高250,000円	在籍期間中1回限り
金沢大学スーパーグローバル大学創成留学生支援奨学金 私費外国人留学生学習奨励費*	年額 180,000円	最短修業年限

(注) 奨学金の金額は、平成28年7月1日現在の実績(学域在学者対象分のみ)

* 金沢大学学生特別支援制度外国人留学生修学支援奨学金及び金沢大学スーパーグローバル大学創成留学生支援奨学金私費外国人留学生学習奨励費の詳細・応募方法については以下のURLを参照してください。

<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/j/abroad/scholarship.html>

9. 学生寮

本学には、次の学生寮(学生寄宿舎)があります。食事は、各寮とも平日の夕食だけです。入浴は、寮内で決定する入浴日程に従ってください。

寮名	男 子	女 子
	せんがくりょう 泉学寮	はくばいりょう 白梅寮
完成年月日	昭和40年2月27日	昭和39年3月31日
所在地	〒921-8031 金沢市野町5丁目8番10号	〒921-8034 金沢市泉野町2丁目13番1号
定員	168人	140人
募集人員	約40人	約40人
構造	鉄筋コンクリート4階建	
居室	13.2㎡(約8畳)、1部屋に2人、机、椅子、本棚、物入れ付き	
共同施設	食堂、自炊室、洗面・洗濯室、浴室、娛樂室、静養室など	
生活費	寄宿料	月額 700円
	食費	夕食 300~400円(希望者のみ)
	運営費	月額 約7,000円(光熱水料、その他)

(1) 入寮願の請求

下記のいずれかの方法で入寮願を取り寄せてください。

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロード

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>

- ② 郵送による請求

返信用封筒(長形3号:12cm×23.5cm 受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し、92円切手を貼付)を学生支援課学生相談係あて送付してください。

【入寮願請求及び照会先】

82ページの「14 申請書類等の請求及び照会先」を参照してください。

(2) 入寮願の提出期間等

提出期間	入寮願の提出先	選考結果の発表
平成29年2月10日(金)～ 平成29年2月16日(木) [必着]	請求及び照会先に同じ	平成29年3月8日(水)

提出期間後の入寮希望者については、欠員がある場合に限り入寮願の提出が可能です。提出期間が過ぎている場合は学生部学生支援課学生相談係（電話：076-264-5167）まで欠員の有無について確認願います。

(3) 提出書類の注意事項

入寮願提出時には、主たる家計支持者の所得に関する証明書類が必要となります。「平成28年分の源泉徴収票又は確定申告の写（平成28年分の確定申告前の場合は平成27年分の所得・課税証明を添付）」を添付してください。

なお、両親が共に有職者である場合は、父母両方の所得に関する証明書類を添付してください。

10. アルバイト

学資補助のためやむを得ずアルバイトをする学生のために、金沢大学生協同組合においてアルバイトの紹介業務を行っています。

11. 保健管理センター

保健管理センターでは、学生の心身の健康の保持及び増進を図るため、医師、カウンセラー（臨床心理士）、看護師、保健師等によって、定期健康診断、健康相談、学生相談、応急措置等を行っています。

12. 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が、①国内外における教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故、②通学中の事故・学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって、身体に傷害を被った場合の救済のため、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。

本学では、学生生活における事故等に備え、必要な保険に加入することを強く推奨しています。

13. 携帯型パソコンの用意について

(1) 本学での学習、研究生生活

インターネットが広く普及した現代のネットワーク社会で活躍できるように、本学の教育目標では、理系・文系を問わず「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線LAN整備が完了し、ポータルサイト「アカンサスポータル」がネットワーク利用の入り口となっています。

入学生の皆様にはそれぞれ携帯型パソコンをご用意いただき、ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り、パソコンから履修登録、授業での教員との連絡、e-learning教材による自習、レポートの提出、成績確認等を行います。更に、健康診断結果や、就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡がネットワークを介して行われます。入学後すぐに、全学生必修科目「情報処理基礎」が開講され、各自の携帯型パソコンを教室でネットワークに接続し、情報ネットワークの安全な利用方法、各学類毎に必要なソフトウェアの利用方法等を学びます。

特別な事情がない限り、本学入学時までには携帯型パソコンをご用意ください。

(2) 携帯型パソコンの条件

平成29年度入学生のための携帯型パソコンの必要条件、金沢大学生協から提供予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については、合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たしているパソコンをお持ちの場合には新たにパソコンを購入いただく必要はありませんが、新規購入を検討される場合には、合格通知に同封される情報をご確認の後に購入して下さい。

(3) マイクロソフト包括（全学）ライセンスについて

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア（Office等）についての包括（全学）ライセンス契約を平成29年度も継続する予定です。この場合、本学の新入学（編入）生は、Officeソフトウェア一式が無償で提供されますので、購入の必要はありません。

(4) 携帯型パソコンの無償貸与について

経済的事情により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には、大学所有のパソコンを半年間（1回のみ更新可能）無償貸与します。入学料免除申請者および入学料徴収猶予申請者を対象学生としますので、これらの申請時に貸与の申し込みを行ってください。

14. 申請書類等の請求及び照会先

項 目	請 求 及 び 照 会 先
○入 学 料 免 除 ○入 学 料 徴 収 猶 予 ○授 業 料 免 除	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生支援係 電話 076-264-5164
○奨 学 金 (私費外国人留学生を除く)	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生支援係 電話 076-264-5170
○奨学金(私費外国人留学生)	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学国際機構支援室 留学生係 電話 076-264-5193
○学 生 寮	〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学学生部学生支援課 学生相談係 電話 076-264-5167
○学生教育研究災害傷害保険	〒920-1192 金沢市角間町 保健管理センター 事務室 電話 076-264-5254

その他の情報

1. 金沢大学所在地略図

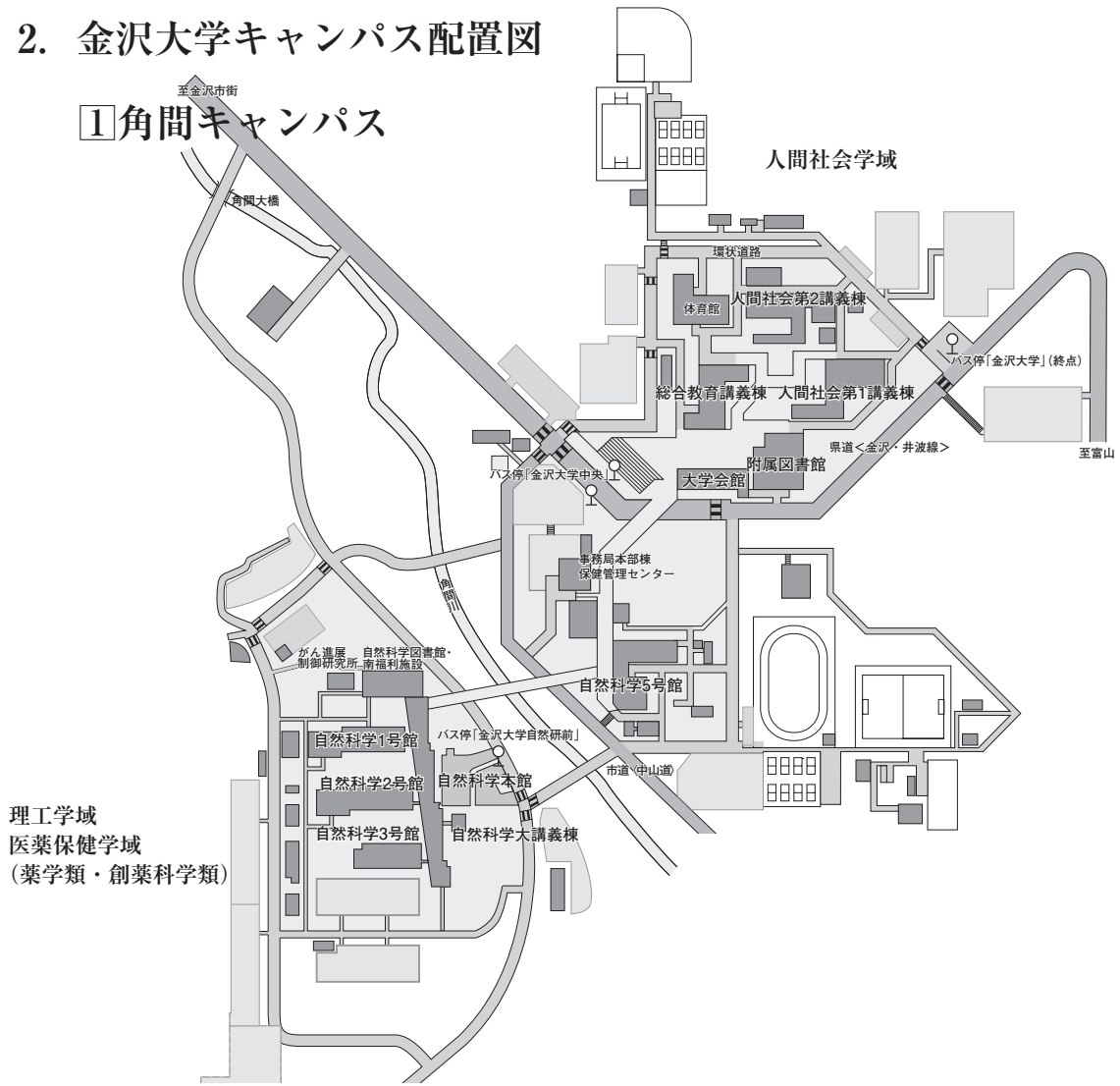


キャンパス名	学 域 等	交 通 機 関
か く ま ま 間	事務局(学生部) 理工学域 医薬保健学域 (薬学類・創薬科学類)	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学自然研前」下車 (JR金沢駅から約35分)
	人間社会学域	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学」終点下車 (JR金沢駅から約40分)
た か ら ま ち 宝 町	医薬保健学域 (医学類)	JR金沢駅兼六園口(東口)又は金沢港口(西口)バスターミナルから北陸鉄道バス 「湯涌温泉」「東部車庫(橋場町経由)」「北陸大学」「金沢学院大学(橋場町経由)」行きのいずれかに乗車
つ る ま ま 間	医薬保健学域 (保健学類)	「小立野」又は「大学病院前」下車 (JR金沢駅から約20分)

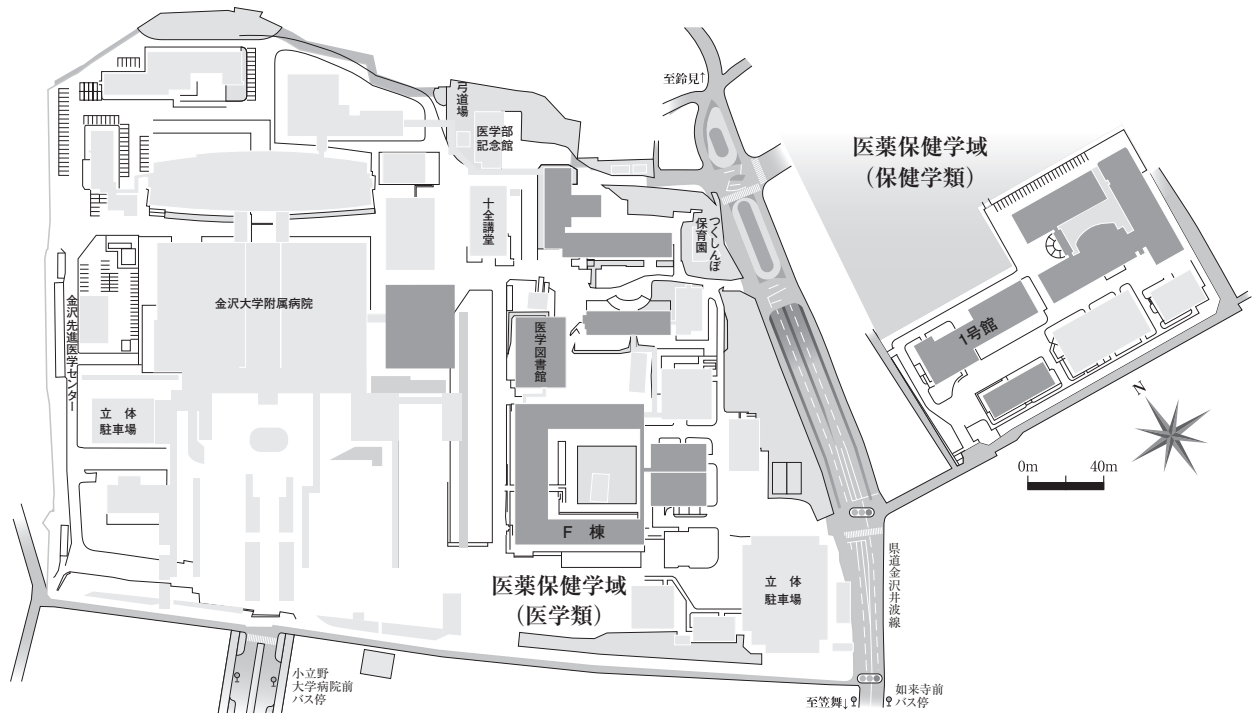
(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。

2. 金沢大学キャンパス配置図

① 角間キャンパス



② 宝町キャンパス



③ 鶴間キャンパス

各種様式

様式	推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試
入学志願票等	○	○	○	○
入学検定料振込依頼書	○	○	○	○
推薦書	○	△	×	×
志願理由書 (推薦入試・帰国子女入試用)	○	△	×	×
志願理由書 (国際バカロレア入試用)	×	×	○	×
音楽活動実績書 (学校教育学類音楽教育専修推薦入試用)	△	×	×	×
選択受験種目・曲目等届 (学校教育学類音楽教育専修推薦入試用)	△	×	×	×
スポーツ活動実績書 (学校教育学類保健体育専修推薦入試用)	△	×	×	×
スポーツ活動に関する調査書 (地域創造学類健康スポーツコース推薦入試用)	△	×	×	×
第一次選考結果通知用封筒 (国際学類推薦入試・帰国子女入試, 医学類推薦入試用)	△	△	×	×
身上調書 (帰国子女入試用)	×	○	×	×
自己推薦書 (法学類, 経済学類, 国際学類帰国子女入試用)	×	△	×	×
身上調書 (国際バカロレア入試用)	×	×	○	×
身上調書 (私費外国人留学生入試用)	×	×	×	○

※○は、必要な様式です。△は学類により必要な様式です。×は必要としません。

様式は、本冊子より直接取り外してご使用ください。

なお、入学志願票等及び入学検定料振込依頼書は入学願書提出用封筒に同封しています。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学
推 薦 書

卒業見込 (卒業)学科名	
ふりがな 志願者氏名	男・女
生年月日	平成 年 月 日生

上記の者は、推薦入試・帰国子女入試（法学類，経済学類，国際学類）の推薦要件・出願資格に該当するものと認め、下記のとおり責任を持って推薦します。

平成 年 月 日

所在地

高校名

学校長氏名

印

推薦する学域学類等		コース・専攻・枠 専修・専門分野		
学域	学類			
推薦理由				
※法学類の志願者については、「推薦入学者受入方針」にある「求める人材」に該当することがわかるように記入してください。				
学業状況				
成績 順位	第1学年	人中 位	第2学年	人中 位
	第3学年	人中 位	第4学年 修業年限4年の場合のみ	人中 位
「国語・外国語・地理歴史・公民」の4教科の評定平均値				
※人文学類(推薦入試)の志願者のみ記入してください。小数点以下第2位を四捨五入してください。				
人物				
特別活動，課外活動等				
その他				

裏面の「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。

推薦書記入上の注意

(全学類共通)

全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の提出書類以外の資格証や賞状の写等は添付しないでください。 ・出願書類受理後は、いかなる理由があっても記載事項の変更はできません。 ・パソコンでの作成も可。様式は、本学（入試情報）Web サイトからもダウンロードできます。パソコンで様式を作成する場合は、使用する用紙の色は問いませんが、表・裏を両面印刷して、書類を作成してください。 http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/
推薦する学域学類等	<ul style="list-style-type: none"> ・コース・専攻・枠・専修・専門分野について、該当する項目に○を付け、名称を適切に記入してください（人文学類の場合は、コース名及び専門分野の両方を記入してください。また、医学類（特別枠）の場合は、石川県枠・富山県枠の区分も省略せずに記入してください）。
学 業 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・科目の学力所見及び勉学の自発性、計画性、理解力、創造的思考、能力等について記入してください。
成 績 順 位	<ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとの学年全体での成績順位を記入してください。ただし、複数の学科等がある場合は、本人の属する類型又は学科全体での成績順位としてください。
人 物	<ul style="list-style-type: none"> ・人物、性格、適性等について記入してください。
特別活動・課外活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム、生徒会、学校行事、文化・体育・スポーツ活動等について記入してください。 ・校外での活動（任意団体、ボランティア等）があれば、その加入団体名及び活動状況を記入してください。 ・学業に関係していない資格（取得見込みも可）があれば記入してください。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状況、生活態度、将来の希望、その他特記事項等について記入してください。

(人文学類の志願者のみ)

評 定 平 均 値	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校生徒指導要録に基づき、国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定の合計数を評定数で除した数値を記入してください。 (計算例) 下記の者の計算例は、次のとおりです。 $\frac{\text{評定の合計数}}{\text{評定数}} = \frac{4+5+4+4+4+4+5+5+4+4+3+5}{12} = \frac{51}{12} = 4.25\cdots \div 4.3$ (小数点以下第2位を四捨五入) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">教科・科目</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">評定</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">修 得 単 位 数 計</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">教 科</th> <th style="text-align: center;">科 目</th> <th style="text-align: center;">第 1 学 年</th> <th style="text-align: center;">第 2 学 年</th> <th style="text-align: center;">第 3 学 年</th> <th style="text-align: center;">第 4 学 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">国 語</td> <td>国語総合</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>現代文 B</td> <td></td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>古典 B</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">外 国 語</td> <td>コミュニケーション英語 I</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>英語表現 I</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>英語表現 II</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">地 理 歴 史</td> <td>世界史 B</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>日本史 A</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>日本史 B</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">公 民</td> <td>現代社会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>倫理</td> <td></td> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>	教科・科目		評定				修 得 単 位 数 計	教 科	科 目	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年	国 語	国語総合	4				4	現代文 B		5			4	古典 B			4		4	外 国 語	コミュニケーション英語 I	4				2	英語表現 I		4			4	英語表現 II		4	5		4	地 理 歴 史	世界史 B	5				4	日本史 A		4			2	日本史 B			4		4	公 民	現代社会	3				3	倫理		5			2
教科・科目		評定				修 得 単 位 数 計																																																																														
教 科	科 目	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年																																																																															
国 語	国語総合	4				4																																																																														
	現代文 B		5			4																																																																														
	古典 B			4		4																																																																														
外 国 語	コミュニケーション英語 I	4				2																																																																														
	英語表現 I		4			4																																																																														
	英語表現 II		4	5		4																																																																														
地 理 歴 史	世界史 B	5				4																																																																														
	日本史 A		4			2																																																																														
	日本史 B			4		4																																																																														
公 民	現代社会	3				3																																																																														
	倫理		5			2																																																																														

(帰国子女入試法学類の志願者のみ)

推 薦 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国子女入試法学類の志願者は、本欄を記入する必要はありません。
------------------	--

(推薦入試経済学類の志願者のみ)

全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内等全校のカリキュラムがわかる印刷物を添付してください。 ・卒業見込学科名は学校独自の類やコース等ではなく、正式名称で記入してください。
学 業 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・学業に関係している資格（取得見込みも可）があれば記入してください。

※受験番号	
-------	--

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学 音楽活動実績書

氏 名		性別	男 ・ 女 (○で囲む)
選択する種目	a 声楽 ・ b ピアノ ・ c 作曲 (○で囲む)		
習学歴			
活動歴			
発表会・コンクール等の名称	年度	主催者 (開催会場)	成績・曲目等
個 ・ 団		()	
個 ・ 団		()	
個 ・ 団		()	

- (注) 1. 習学歴の欄には、指導を受けた教師等の個人名を記入することはできません。
 2. 活動歴の欄には、学校の内外で行ってきた音楽活動について記入してください。
 3. 発表会・コンクール等の活動があれば、優先順位の高いものを3つまで記入してください。
 個人活動の場合は「個」、団体活動の場合は「団」を○で囲んでください。

※受験番号	
-------	--

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学 音楽活動実績書 (記入例)

氏名	金沢太郎	性別	①男・女(○で囲む)
選択する種目	①声楽・bピアノ・c作曲(○で囲む)		
習学歴 6歳からピアノを習い始める。小学校時代は吹奏部に所属してクラリネットも吹いた。中学・高校とコーラス部に所属し、高校2年から声楽の個人レッスンを受け始め、今日に至る。			
活動歴 6歳から13歳まで毎年ピアノの発表会に出演した。高校のコーラス部ではバスパートのパートリーダーを務め、文化祭の校内合唱コンクールでは指揮者としてクラス合唱をまとめた。 文化祭の演劇部公演で音楽を担当し、選曲のほかピアノソロ曲を創作し使用した。校内合唱祭でディズニー作品を女声四部合唱に編曲し演奏した。			
発表会・コンクール等の名称	年度	主催者(開催会場)	成績・曲目等
NHK 全国学校音楽コンクール 石川県大会 個・①団	平成 ○○	NHK (金沢歌劇座)	金賞
全国高等学校総合文化祭 ①個・団	平成 ○○	高等学校文化連盟 (愛知県芸術劇場)	Gia il sole dal Gange Ombra mai fu
個・団		()	

- (注) 1. 習学歴の欄には、指導を受けた教師等の個人名を記入することはできません。
 2. 活動歴の欄には、学校の内外で行ってきた音楽活動について記入してください。
 3. 発表会・コンクール等の活動があれば、優先順位の高いものを3つまで記入してください。
 個人活動の場合は「個」、団体活動の場合は「団」を○で囲んでください。

※受験番号	
-------	--

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学 選択受験種目・曲目等届

学校教育学類〔音楽教育専修〕の志願者は、実技の〔「イ 選択受験種目」のa～cの3種目〕から1種目を選択し、該当欄に選択曲目等を記入してください。

※学生募集要項37ページを参照してください。

イ 選択受験種目

a 声楽実技

- (1) 作曲者 () 曲名 ()
- (2) 作曲者 () 曲名 ()

b ピアノ実技

- (1) ①又は②のいずれかを選択

- ①バッハ 平均律 第 () 巻より 第 () 番 () 調
- ②ベートーヴェン ソナタ第 () 番 作品番号 ()
第 () 楽章

- (2) 作曲者 ()
曲名 ()

c 作曲実技

志願者氏名		性別	男・女
-------	--	----	-----

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 保健体育専修 推薦入試用
スポーツ活動実績書

ふりがな 志願者氏名	男 ・ 女	平成	年	月	日生
特技とするスポーツ競技種目					
身長			cm	体重	
				kg	

主なスポーツ活動実績（主要なものを3つ記入し、裏面の記入上の注意「その他」の1に記載の書類を必ず添付してください。）

	大会名・主催者	種別	開催年月・開催地	大会区分	成 績	出場者数	出場に至る選抜方法等
1							
2							
3							

記入責任者氏名

印 志願者との関係（ ）

以上のとおり相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

所在地

学校名

学校長氏名

印

金沢大学 人間社会学域 学校教育学類 保健体育専修 スポーツ活動実績書

記入例及び記入上の注意

主なスポーツ活動実績（記入例）

	大会名・主催者	種別	開催年月・開催地	大会区分	成績	出場者数	出場に至る選抜方法等
例1	平成〇〇年度全国高等学校総合体育大会 バレーボール競技 全国高等学校体育連盟 主催	女子 団体	平成〇〇年〇月 大阪市舞州障害者 スポーツセンター	全国大会	予選リーグを勝ち抜き、 決勝トーナメント戦出 場、2回戦敗退、計3試 合にレギュラー選手（リ ベロ）として出場。ベスト レシーバー賞獲得。 詳細は別紙資料。	15チーム	石川県大会予選上位2 チームが北信越大会に出 場。5県10チームのう ち、優勝、準優勝チーム が全国大会に出場した。

例2	平成〇〇年度石川県高 等学校総合体育大会 「体操」競技 石川県高等学校体育連 盟・石川県教育委員会 主催	男子 体操競技 個人総合	平成〇〇年〇月 石川県小松市木場 潟スポーツ研修セ ンター	県内大会	体操（体操競技）男子個 人総合3位入賞（別紙資 料参照）	8名参加	県内高等学校選手の参加 申し込みによる（予選な し）。
----	---	--------------------	--	------	------------------------------------	------	-----------------------------------

例3	平成〇〇年度全国高等 学校ダンスフェスティ バル (社)日本女子体育連 盟・神戸市・神戸市教 育委員会主催	男女団体 創作コン クール部門	平成〇〇年〇月 神戸文化ホール	全国大会	創作コンクール部門の予 選に出場した。(資料参 照)	80チーム	全国高等学校チームの参 加申し込みによる（予選 なし）。
----	--	-----------------------	--------------------	------	----------------------------------	-------	------------------------------------

記入上の注意

1. 「大会名・主催者名」には、志願者本人が高等学校3年間に行ったスポーツ活動の中で、最も優秀と思われる実績を得た活動順に、正式大会名称及び主催者名を記入してください。
2. 「種別」には、「男・女」、「団体」「個人」「総合」、「シングルス」「ダブルス」「級別」「部門」等の区分を記入してください。また同一大会で団体・個人の双方に出場したり、複数種目に出場した場合にはそれぞれ別々の欄に記入してください。
3. 「開催年月・開催地」には、大会が開催された年月、及び開催都道府県、市町村名、競技会場名の順に記入してください。
4. 「大会区分」には、「国際大会」、「全国大会」、北信越地域などの「地域ブロック大会」、都道府県などの「県内大会」、「校内大会」などの区分を記入してください。
5. 「成績」には、当該大会における成績と志願者の果たしたポジションや役割、入賞・受賞記録等をできるだけ具体的に記入してください。団体競技の場合は、本人が出場したかどうかについても記入してください。
6. 「出場者数」には、当該大会における出場チーム数（個人の場合には出場者数）を記入してください。
7. 「出場に至る選抜方法等」には、当該大会へ出場にするにあたって、どのような選抜方法（予選等）があったかを記入してください。予選なしの場合には「予選なし」と記入してください。

その他

1. 記入された成績を証明する資料（大会記録、報道記事等）の写し及び出場していたことを証明する資料（エントリー表、スコアブック等）の写しを必ず添付してください。
2. 「記入責任者」は志願者の所属する高等学校教員に限ります。
3. 「志願者との関係」には、「〇〇部顧問教員」「クラス担任」等を記入してください。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度 金沢大学 スポーツ活動に関する調査書

〔金沢大学人間社会学域 地域創造学類 健康スポーツコース推薦入試用〕

志願者に関する事項記入欄

ふりがな：	生年月日： 平成 年 月 日生	性 別： 男 ・ 女
志願者氏名：	競技種目：	

スポーツ活動記入欄（必ず3件を記入し、裏面の記入上の注意の2-(7)に記載の書類を必ず添付してください。）

	競技会のレベル	大会名・主催者・開催年月・場所	形態	選抜方法	成績・活躍の様子
1	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他		団体 個人 その他		
2	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他		団体 個人 その他		
3	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他		団体 個人 その他		

上記の通り、相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

所 在 地：

記入責任者氏名： _____ 印

学 校 名：

(志願者との関係： _____)

学校長氏名： _____ 印

スポーツ活動に関する調査書記入上の注意

スポーツ活動に関する調査書の記入にあたっては、下記に留意の上、詳細に記入してください。

1. 志願者に関する事項記入欄

- (1)「志願者氏名」は、楷書で姓名を記入し、ひらがなでふりがなを記入してください。
- (2)「生年月日」は算用数字で記入してください。
- (3)「性別」は、いずれかを○で囲んでください。
- (4)「競技種目」には、志願者の技能が最も優れている種目を記入してください。

2. スポーツ活動記入欄

- (1) 優れた成績を修めた競技大会について、上位3件を必ず記入してください(例:国体出場、2年次と3年次の高校総体の3件)。ただし、同一の競技大会で複数種目に出場した場合は、それらの中から最も優れた成績を1件のみ記入してください。例えば、陸上競技の100m、200m、走り幅跳びの3種目に出場した場合は、それらの中から最も優れた成績を修めた種目について記入してください。また、全国大会の出場者を決めるための都道府県大会や地域大会は異なる競技大会と見なします。
- (2)「競技会のレベル」には、「全国レベル」「地域レベル」「都道府県レベル」「その他」から当てはまるものに○を付けてください。「全国レベル」には国際大会も含まれます。「その他」には、市町村大会や、記録会(陸上競技等)、招待試合、選抜選手としての招聘等を含みます。()内には、その内容がわかるように記入して下さい(例:○○市記録会、招待試合、選抜選手としての招聘等)。
- (3)「大会名・主催者・開催年月・場所」の開催された大会の年月は算用数字で、開催場所は都市名で記入してください。
- (4)「形態」には、団体競技としての成績か、個人競技としての成績かがわかるように「団体」「個人」「その他」から当てはまるものに○を付けてください。「その他」には、シングルス戦、ダブルス戦、リレー、無差別級等、それぞれの競技の特徴的な形態がわかるように記入してください。
- (5)「選抜方法」には、競技成績として記入した大会への出場資格を得るためにどのような選抜方法(予選)が行われたかを記入してください。大会規模や出場難易度がわかるように、出場者数や選考の方法を簡潔明瞭に記入してください。
- (6)「成績・活躍の様子」には、チーム成績や個人成績、大会での活躍度、チーム内での役割等について、志願者の活躍の様子がわかるように記入してください。特に優れた個人競技記録は、その水準(例:高校新記録、○年度高校生ランキング30位等)がわかるように記入してください。団体競技の場合は、本人が出場したかどうかについても記入してください。
- (7) 記入された競技成績を証明する資料(大会記録、報道記事、賞状等)の写し及び出場していたことを証明する資料(大会プログラム、エントリー表、スコアブック、招聘状等)の写しを必ず添付してください。

3. その他

- (1)「記入責任者」は、志願者が所属する高等学校もしくは中等教育学校の教員に限ります。
- (2)「志願者との関係」には、「○○部顧問教員」「クラス担任」等を記入してください。

記入例

団体競技(例:サッカー)

	競技会のレベル	大会名・主催者・開催年月・場所	形態	選抜方法	成績・活躍の様子
1	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 ()	第○回高等学校サッカー選手権大会・石川県予選 (財)日本サッカー協会・(財)全国高等学校体育連盟 平成○年○月○日～○月○日 金沢市	団体 個人 その他 ()	第○回高等学校サッカー選手権大会の代表権を獲得するために、石川県内○校が参加し、トーナメント戦方式で力量を競い合った。	チーム成績は県内出場○校中ベスト8位(4回戦敗退)。志願者は、いずれの試合にもレギュラー選手(フォワード)としてフルタイム出場。4試合の合計得点は5得点に及んだ。また、志願者は、今大会、主将としてリーダーシップを発揮し、チームを牽引した。
2	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 代表候補者の招聘 ()	平成○年度日本サッカー協会U-17代表選考合宿 (財)日本サッカー協会 平成○年○月○日～○日 福島県双葉郡	団体 個人 その他 ()	200○年アジアユース選手権のU-17日本代表(17歳以下日本代表)を選抜する選考合宿がJ-ヴィレッジ(福島)で開催され、志願者はその候補者の一人として合宿に参加した(参加選手40名)。	参加の結果、U-17代表にはノミネートされなかったが、候補者の一人として合宿に参加できた経験を、その後の自身の競技力向上やチーム活動への還元に役立てたいと強く感じた。参加者ならびに最終選考選手の名簿は別紙参照。

対人競技(例:剣道)

1	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 ()	第○回国民体育大会(少年女子の部) 文部科学省 (財)日本体育協会 (財)全日本剣道連盟 平成○年○月○日～○日 秋田市	団体 個人 その他 ()	国体では少年女子24チーム120名参加。石川県選抜選手となり、石川県代表チームとして参戦。地域ブロックごとにリーグ戦を行い、北信越地区では4県の対戦から勝利した2県が本大会へ出場した。	チーム成績は24チーム中ベスト8(2回戦敗退)。2試合ともレギュラーとして出場(中堅)。1試合目勝利。2試合目は敗北。また、志願者は、主将としてチームに貢献した。
2	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 ()	第○回石川県高等学校剣道選手権大会 (財)石川県高体連 石川県教育委員会 平成○年○月○日～○日 金沢市	団体 個人 その他 ()	石川県内女子高校生140名参加。2ブロックに分かれたトーナメント戦方式。	個人戦女子の部で優勝(140名中)。

個人競技(例:陸上競技や水泳)

1	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 ()	第○回全国高等学校総合体育大会・陸上競技の部 (財)全国高等学校体育連盟 平成○年○月○日～○月○日 さいたま市	団体 個人 その他 ()	平成○年度全国高等学校総合体育大会・陸上競技の部に出場するために、石川県で6位以内の者が北信越大会に出場し、さらに北信越大会で6位以内に入賞しなければならない。	【100mの例】5位入賞。記録は準決勝時10秒79(+1.5)が県高校記録。 【砲丸投の例】決勝進出も記録なし。予選時の記録12m81。 【リレーの例】4×400mリレーに第2走者で出場。準決勝まで進出。成績7位(3分18秒55) 【記録会等の例】○○リレーカーニバルにて男子5000m14分09秒33。県高校記録樹立。
2	全国レベル 地域レベル 都道府県レベル その他 ()	第○回全国高等学校総合体育大会・水泳(競泳)の部 (財)全国高等学校体育連盟 平成○年○月○日～○月○日 さいたま市	団体 個人 その他 ()	平成○年度全国高等学校総合体育大会・水泳(競泳)の部に出場するために、石川県で3位以内の者が北信越大会に出場し、さらに北信越大会で3位以内に入賞しなければならない。	【100m平泳ぎの例】○名中1位優勝。県記録。 【リレーの例】400mリレーに第2泳者で出場。準決勝まで進出。成績7位(3分34秒59) 【飛込の例】男子飛板飛込で237.95点。予選で13位(12位までが決勝進出)。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度(2017年度) 金沢大学 身上調書 (帰国子女入試用)

志願学域 学類・専攻	学域	学類	専攻
ふりがな		性別	生年月日
氏名		男・女	年 月 日 (2017年4月1日現在 歳)
志願者 現住所	〒 - 携帯電話 (- -) 電話 (- -) Email アドレス ()		
上記以外の 連絡先 (日本国内)	氏名	続柄	
	〒 - 携帯電話 (- -) 電話 (- -)		

渡航理由	
------	--

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項	
	初等教育 (小学校)		年 月 から 年 月 まで					
		年 月 から 年 月 まで						
		年 月 から 年 月 まで						
		年 月 から 年 月 まで						
中等教育 (中学校) (高等学校)			年 月 から 年 月 まで					
			年 月 から 年 月 まで					
		年 月 から 年 月 まで						
		年 月 から 年 月 まで						
	初等教育及び中等教育の 通算した年数							
高等学校 卒業以降		年 月 から 年 月 まで						
		年 月 から 年 月 まで						

資格取得	・国際バカロレア資格 ・アビトゥア資格 ・バカロレア資格(フランス共和国) (取得した資格に○をしてください。)	取得年月	年 月
------	---	------	-----

- 記入上の注意**
1. 本人の自筆で、黒ボールペンで記入してください。
 2. 年号は、西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
 3. 渡航理由の欄は、外国に滞在及び教育を受けることとなった理由を簡潔に記入してください。
 4. 学校教育歴の欄は、小学校入学時から記入してください。
 5. 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
 6. 修業年数の欄には、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
 7. 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
 8. 高等学校卒業以降については、高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
 9. 「転学」、「編入学」、「飛び級」、「繰上げ卒業」又は「退学」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度(2017年度) 金沢大学
 身上調書 (国際バカロレア入試用)

志願学域・学類等	学域		学類		専攻 (保健学類のみ)
フリガナ			性別	生年月日	年 月 日生
氏 名			男・女		(2017年4月1日現在 歳)
	アルファベット			国籍	日本在留資格 (外国籍で日本居住者のみ)
	(Family Name)	(First Name)	(Middle Name)		※2016年10月出願時点
志願者所 現住所	〒 - 携帯電話 (- -) 電話 (- -) Email アドレス ()				
上記以外の 連絡先 (日本国内)	氏 名			志願者との関係	
	〒 -	携帯電話 (- -) 電話 (- -)			

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項
	学 校 教 育 歴	初等教育 (小学校)	年 月から 年 月まで				
年 月から 年 月まで							
中等教育 (中学校) (高等学校)		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで					
	初等教育及び中等教育の 通算した年数						
高等学校 卒業以降	年 月から 年 月まで						
	年 月から 年 月まで						

- 国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得 (取得年月: 年 月)
- 2016年11月受験予定

記入上の注意

- 本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 外国籍で、出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先 (日本国内) の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先 (住所・携帯電話番号・電話番号) を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学時から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

身上調書（国際バカロレア入試用）記入例

平成29年度(2017年度) 金沢大学
身上調書（国際バカロレア入試用）

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

志願学域・学類等		人間社会 学域 国際 学類		専攻(保健学類のみ)	
フリガナ		○○ ○○○○		性別	生年月日
氏名		アルファベット		女	1997年 5月 10日生 (2017年4月1日現在 19歳)
		(Family Name)	(First Name)	(Middle Name)	国籍
				日本	日本在留資格 (外国籍で日本居住者のみ) ※2016年10月出願時点
志願者現住所		〒XXX-XXXX 東京都〇〇区〇〇丁目〇番地〇〇マンション101号室 携帯電話(090-XXXX-XXXX) 電話(03-XXXX-XXXX) Emailアドレス(XXXXXXX@ΔΔΔΔ.ΔΔΔΔ)			
上記以外の連絡先(日本国内)		氏名	〇〇 〇〇	志願者との関係	父
		〒- 同上 携帯電話(090-XXXX-XXXX) 電話(03-XXXX-XXXX)			

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在国	特記事項
	初等教育 (小学校)		2004年 4月 から 2010年 3月 まで	6	6	〇〇小学校	日本
		年 月 から 年 月 まで					
中等教育 (中学校)		2010年 4月 から 2013年 3月 まで	3	3	〇〇中学校	日本	
		2013年 4月 から 2016年 3月 まで	3	3	〇〇高等学校	日本	
		年 月 から 年 月 まで					
		年 月 から 年 月 まで					
初等教育及び中等教育の 通算した年数			12	12			
高等学校 卒業以降		年 月 から 年 月 まで					
		年 月 から 年 月 まで					

国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得 (取得年月: 2016 年 / 月)

2016年11月受験予定

記入上の注意

- 本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 外国籍で、出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先(日本国内)の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学時から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

【全体(共通)】

- ・本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- ・年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。

【志願学域・学類等】

- ・志望する学域・学類名を記入してください。
- ・医薬保健学域保健学類の志願者は、志望する専攻名についても記入してください。

【志願者氏名】

- ・氏名が漢字表記できない場合は、氏名欄を自国語で記入し、アルファベット欄についても記入してください。

【日本在留資格】

- ・外国籍で、出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、該当する在留資格名を記入してください。
- ・出願時点で在留資格を有しない場合は、「なし」と記入してください。

【志願者現住所】

- ・志願者の現住所を記入してください。

【上記以外の連絡先(日本国内)】

- ・志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者(保護者等)の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。

【学校教育歴】

- ・小学校入学から記入してください。

【正規の修学年限】

- ・当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。

【修業年数】

- ・実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。

【初等教育及び中等教育の通算した年数】

- ・正規の修学年限の欄及び修業年数の欄ともに、通算した年数を記入してください。

【高等学校卒業以降】

- ・高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
 - 大学、短期大学、専門学校等の当該国の教育制度において、正規の修学年限が定められている場合は、正規の修学年限の欄及び修業年数の欄に年数を記入してください。
 - 当該国の教育制度においては、正規の修学年限が特に定められていない学校の場合は、正規の修学年限の欄は、記入不要です。

【特記事項】

- ・「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

- ・国際バカロレア資格 (IB フルディプロマ) 取得、2016年11月受験予定のいずれかにチェックしてください。
- ・国際バカロレア資格取得者は、取得年月についても記入してください。

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度(2017年度) 金沢大学
 身上調書 (私費外国人留学生入試用)

志願学域・学類等	学域	学類	専攻 (保健学類のみ)
志願者氏名	フリガナ		性別
	自国語		国籍
	アルファベット	(Family Name)	(First Name)
		(Middle Name)	日本在留資格 (日本に居住している場合)
生年月日	年 月 日生 (2017年4月1日現在 歳)		※2017年1月出願時点
志願者 現住所	〒 - 携帯電話 (-) 電話 (-) Email アドレス ()		
上記以外の 連絡先 (日本国内)	氏名	志願者との関係	
	〒 - 携帯電話 (-) 電話 (-)		
志願者の 自国の住所			

学 校 教 育 歴	区 分	在籍期間	正規の 修学年限	修業年数	学 校 名	学校所在 国 名	特記事項	
	初等教育 (小学校)		年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで						
中等教育 (中学校) (高等学校)			年 月から 年 月まで					
			年 月から 年 月まで					
		年 月から 年 月まで						
	初等教育及び中等教育の 通算した年数							
高等学校 卒業以降		年 月から 年 月まで						
		年 月から 年 月まで						

資格取得	・国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格(フランス共和国) (取得した資格に○をしてください。)	取得年月	年 月
日本留学試験・受験年月 (業学類・創薬科学類は除く)	年 月	TOEFL・受験年月 (学校教育学類は除く)	年 月
(その他特記事項)			

記入上の注意

- 本人の自筆で黒ボールペンで記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字体で記入してください。
- 出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先(日本国内)の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。
- 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
- 学校教育歴に重複する期間がある場合は、その他特記事項の欄に説明を記入してください。

身上調書（私費外国人留学生入試用）記入例

※受験番号

※印の欄は記入しないでください

平成29年度(2017年度) 金沢大学 身上調書（私費外国人留学生入試用）

志願学域・学類等	人間社会 学域 経済 学類	専攻(保健学類のみ)					
フリガナ	○○ ○○ ○○	性別					
自国語	○ ○ ○	国籍					
志願者氏名	アルファベット	男 <input checked="" type="radio"/> 中国					
	XXX (Family Name) XXXXXX (First Name) (Middle Name)	日本在留資格 (日本に居住している場合)					
	生年月日 1996年 10月 5日生(2017年4月1日現在20歳)	留学 ※2017年1月出願時点					
志願者現住所	〒920-XXXX 金沢市○○町○丁目○○-○○ 0000学生寮 301号室 携帯電話(090-XXXX-XXXX) 電話(076-XXX-XXXX) Emailアドレス(XXXXXXX@ΔΔΔΔ.ΔΔΔΔ)						
上記以外の連絡先(日本国内)	氏名 ○ ○ ○ ○ 志願者との関係 友人 〒920-XXXX 金沢市○○町○丁目○○番地 もりの里マンション205号室 携帯電話(080-XXXX-XXXX) 電話(076-XXX-XXXX)						
志願者の自国の住所	中華人民共和国○○市○○区○○○○ (郵便番号:XXXXXX)						
学校教育歴	区分	在籍期間	正規の修学年限	修業年数	学校名	学校所在国	特記事項
	初等教育(小学校)	2003年 9月から 2009年 7月まで	6	6	0000小学	中国	
		年 月から 年 月まで					
	中等教育(中学校) (高等学校)	2009年 9月から 2012年 7月まで	3	3	0000中学	中国	
		2012年 9月から 2015年 7月まで	3	3	0000中学	中国	
		年 月から 年 月まで					
	初等教育及び中等教育の 通算した年数		12	12			
高等学校 卒業以降	2015年 9月から 2016年 7月まで	4	1	0000大学	中国	中途退学	
	2016年 9月から 2017年 3月まで		0.5	0000日本語学校	日本		
資格取得	国際バカロレア資格・アビトゥア資格・バカロレア資格(フランス共和国) (取得した資格に○をしってください)		取得年月	年 月			
日本留学試験・受験年月 (薬学類・創薬科学類は除く)	2016年 11月	TOEFL・受験年月 (学校教育学期は除く)	2016年 8月				
(その他特記事項)							

記入上の注意

- 本人の自筆で黒ボールペンで記入してください。
- 字号は西暦で記入し、欧文は活字で記入してください。
- 出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、日本在留資格の欄に該当する在留資格名を記入してください。
- 上記以外の連絡先(日本国内)の欄は、志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。
- 学校教育歴の欄は、小学校入学から記入してください。
- 正規の修学年限の欄は、当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。
- 修業年数の欄は、実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。
- 初等教育及び中等教育の通算した年数の欄には、正規の修学年限及び修業年数ともに、通算した年数を記入してください。
- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。
- 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、その他特記事項の欄に検定の名称と合格年月を記入してください。
- 学校教育歴に重複する期間がある場合は、その他特記事項の欄に説明を記入してください。

【その他特記事項】

- 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等の検定に合格している場合は、検定の名称と合格年月を記入してください。
- 学校教育歴に重複する期間がある場合は、説明を記入してください。

【全体(共通)】

- 本人の自筆で、黒ボールペンを使用して記入してください。
- 年号は西暦で記入し、欧文は活字で記入してください。

【志願学域・学類等】

- 志望する学域・学類名を記入してください。
- 医薬保健学域保健学類の志願者は、志望する専攻名についても記入してください。

【志願者氏名】

- 氏名は、自国語及びアルファベットの2種類を記入してください。

【日本在留資格】

- 出願時点で日本に居住し、在留資格を有する場合は、該当する在留資格名を記入してください。
- 出願時点で在留資格を有しない場合は、「なし」と記入してください。

【志願者現住所】

- 志願者の現住所を記入してください。

【上記以外の連絡先(日本国内)】

- 志願者と連絡を取ることができる日本国内に在住する者の氏名、志願者との関係及び連絡先(住所・携帯電話番号・電話番号)を記入してください。

【学校教育歴】

- 小学校入学から記入してください。

【正規の修学年限】

- 当該国の教育制度に基づき、学校を卒業又は修了するのに必要な年数を記入してください。

【修業年数】

- 実際に当該校に在籍して修了した年数を記入してください。

【初等教育及び中等教育の通算した年数】

- 正規の修学年限の欄及び修業年数の欄ともに、通算した年数を記入してください。

【高等学校卒業以降】

- 高等学校卒業以降の学習歴を記入してください。
 - 大学、短期大学、専門学校等の当該国の教育制度において、正規の修学年限が定められている場合は、正規の修学年限の欄及び修業年数の欄に年数を記入してください。
 - 当該国の教育制度においては、正規の修学年限が特に定められていない学校の場合は、正規の修学年限の欄は、記入不要です。

【特記事項】

- 「飛び級」又は「繰上げ卒業」等の事実があれば、特記事項欄に記入してください。

学生募集要項の請求方法

(1) 金沢大学Webサイトから資料請求をする場合

金沢大学Webサイトから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、金沢大学（入試情報）Webサイト

(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/>) をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合（インターネット，自動音声応答電話）

① インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話をご利用ください。



テレメール

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)の場合		自動音声応答電話の場合	
http://telemail.jp		IP電話	050-8601-0101 (24時間受付) (一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。)
バーコード ※対応するスマートフォン・携帯電話で読み取れます。			

② 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。（スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。）

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
学生募集要項（推薦，帰国子女，国際バカロレア，私費外国人留学生）	487364	300円
学生募集要項（推薦，帰国子女，国際バカロレア，私費外国人留学生）・大学案内	487365	350円

③ ガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は資料到着まで保管しておいてください。

※請求から2～3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金はお届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。（ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。）

※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりははっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

→ (1) 及び (2) の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

IP電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)

(3) 金沢大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は、受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し300円分の郵便切手（同時に大学案内も希望される場合は、300円に代えて350円分の郵便切手）を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封の上、封筒の表に「推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，私費外国人留学生入試募集要項請求」（大学案内も希望する場合は「推薦入試，帰国子女入試，国際バカロレア入試，私費外国人留学生入試募集要項+大学案内請求」）と朱書き、請求してください。

請求先・問い合わせ先

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169, 5177～5179

電話での問い合わせは平日（月曜日～金曜日）9時から17時までに行ってください。